

## 第五期帯広市総合計画主要な施策の実施状況

## 目 次

1 . 主要な施策の実施状況について .....	2
2 . 実施状況の見方 .....	2
第1部 基本的事項 .....	3
第2部 各論編 .....	8
第1章 安心安全都市 .....	8
第2章 産業複合都市 .....	29
第3章 環境共生都市 .....	44
第4章 生涯学習都市 .....	58
第5章 広域連携都市 .....	71

## 1. 主要な施策の実施状況について

第五期帯広市総合計画の実施状況については、平成 20 年 12 月に「第五期帯広市総合計画実施状況報告書」として、平成 19 年度までの実施状況を政策ごとにまとめました。

本資料は、第五期帯広市総合計画の実施状況をさらに詳細に示すため、政策（節）ごとに示している「主要な施策」について、平成 19 年度までの実施状況と今後の課題についてまとめたものです。

## 2. 実施状況の見方

### 第 3 節 高齢者福祉

#### 政策の基本方向

- ・ 高齢者が安心して生活できる総合的な環境づくり  
地域の保健・福祉・医療などの機関や施策のネットワークによる、相互に連携した総合的な高齢者福祉の取り組みをすすめます。

基本計画に示されている基本方向を掲載しています。

#### 主要な施策の実施状況

##### 2. 在宅サービスの充実

(これまでの取り組み内容)

配食サービスやデイサービス、ショートステイなどの在宅サービスの提供のほか、高齢者緊急通報システムの整備や小規模多機能型居宅介護拠点、地域包括支援センターなど、各種在宅サービスの充実や緊急時対策、介護支援機能の充実をすすめてきました。

平成 19 年度までに実施した、主な取り組み内容について掲載しています。

- ・ 配食サービスによる配食数（H15：58,052 食/年 H19：79,935 食/年）
- ・ デイサービスセンター整備箇所数（7 箇所）
- ・ ショートステイ整備床数（50 床）
- ・ 小規模多機能型居宅介護整備箇所数（2 箇所）
- ・ 地域包括支援センター整備箇所数（4 箇所）

- ・ これまでの取り組み内容を表す代表的な数値を掲載しています。
- ・ 平成 12 年度から 19 年度までの間の数値は、年度の表記を省略しています
- ・ 一部は後期推進計画期間中の数値を掲載しています。

##### (今後の課題)

高齢者の自立した生活を支援するため、介護予防を推進するとともに、在宅福祉サービスの充実や相談体制の充実が必要です。

これまでの取り組み内容を踏まえた、今後の課題を掲載しています。

## 第1部 基本的事項

### 第1節 市民自治と自治体経営

#### 政策の基本方向

- ・市民と行政との協働による市民自治の確立  
市民自らがまちづくりの役割と責任を担い、市民と行政との協働による市民自治の確立をめざします。
- ・まちづくりへの市民参画を促す情報公開・提供の推進  
行政情報の公開・提供を積極的にすすめ、まちづくりへの市民参画を促進します。
- ・透明性の高い、簡素で効率的な自治体運営の確立  
透明性の高い行政運営を行うとともに、簡素で、効果的・効率的な自治体づくりをすすめます。
- ・健全な財政運営の確立  
多様化する市民ニーズに応えながら、効率的、計画的な財政運営の確立をめざします。
- ・地方分権への対応  
地方分権時代に的確に対応するため、地域の意思と責任に基づく自主・自律のまちづくりをすすめます。

#### 主要な施策の実施状況

##### 1. 情報の公開・提供

###### (これまでの取り組み内容)

情報室を設置し行政情報の提供を行うとともに、ホームページなどを活用し、各種審議会や市議会の会議録を公開するなど、各種情報の公開・提供をすすめてきました。

- |  |
|--|
| ・ホームページで会議録を公開している審議会数<br>(H16：2 審議会 H19：14 審議会) |
|--|

###### (今後の課題)

市民との協働によるまちづくりをすすめていくため、市民との情報共有が一層重要となっており、行政情報をより幅広く提供していくことが必要です。

##### 2. 広報活動の充実

###### (これまでの取り組み内容)

広報紙の特集・準特集の掲載数を増やし紙面を充実したほか、タブロイド版の導入やカラー化により、親しみやすく読みやすい広報紙づくりをすすめてきました。また、TV・ラジオなど各種メディアを活用した広報活動をすすめてきました。

・ 広報紙の特集・準特集の件数（H16：43件/年 H19：54件/年）

（今後の課題）

今後も、広報紙をはじめ様々な媒体を活用し、行政に関する情報を分かりやすく、より効果的に提供していくことが必要です。

3．広聴活動の充実

（これまでの取り組み内容）

市民意見を行政運営に反映させるため、陳情・要望の受理や市長への手紙などにより、市政に対する市民の声の把握に努めるとともに、市長とふれあいトーク、まちづくり懇談会の開催など、市民対話の機会の充実に取り組んできました。

・ ふれあいトーク等の参加者数（H15：657人/年 H19：779人/年）

（今後の課題）

今後も、市民との対話をすすめるとともに、様々な機会を通じて市民意見を把握し、市政への反映に努めていくことが必要です。

4．市民参画のしくみづくり

（これまでの取り組み内容）

市民協働のまちづくりをすすめるため、各種審議会における委員の公募制の導入、市民協働指針の作成、パブリックコメント制度の導入、市民提案型協働のまちづくり事業の実施など、市民がまちづくりに参加するための様々なしくみづくりをすすめてきました。

・ 市民提案型協働のまちづくり事業実施件数（6件）

（今後の課題）

多様化する地域課題に対応していくため、協働のまちづくりの重要性が高まっており、今後より一層、市民グループやNPO、ボランティア団体への支援をすすめるなど、市民がまちづくりに参加しやすい環境づくりをすすめていくことが必要です。

5．平和と人権

（これまでの取り組み内容）

世界の平和や一人ひとりの人権が尊重される社会の形成に向け、啓発事業をすすめる、平和や人権に対する市民の意識向上をはかってきているほか、高齢者や障害者、児童虐待に係る相談体制の整備など、人権に関わる問題に対し適切な対応をすすめてきました。

・ 釧路地方法務局帯広支局管内における人権相談件数  
(H15 : 1,413 件/年 H19 : 913 件/年)

(今後の課題)

人権の尊重や平和の尊さについて市民一人ひとりの意識を高めていくとともに、様々な暴力の防止に向け、関係機関などが連携した取り組みが必要です。

6 . 計画的、総合的な施策推進

(これまでの取り組み内容)

総合計画を効率的・効果的に推進するため、前期・後期推進計画の策定や政策・施策評価システムの試行導入をすすめ、各施策を計画的・総合的に推進してきました。

また、組織機構の見直しによる機能的で分かりやすい組織機構づくり、ISO9001の認証取得による窓口サービスの向上、余裕教室の有効活用による公共施設の有効活用をすすめてきました。

・ 政策・施策評価報告書公開回数 (H17～H19 : 1 回/年)

(今後の課題)

地方分権の進展など自治体を取り巻く環境が変化する中、総合的・計画的なまちづくりがより一層必要となっており、政策・施策評価を実施し、効率的・効果的に施策等を推進していくことが必要です。

7 . 行財政改革の推進

(これまでの取り組み内容)

行財政改革推進計画などを策定し、事務事業の見直しや指定管理者制度の導入、職員定数の見直しなどを行うとともに、収納率向上対策や起債発行枠の抑制など財政構造の適正化に取り組み、行政運営の効率化や財政の健全化をすすめてきました。

・ 指定管理者制度実施数 (H17 : 28 件 H19 : 108 件)

(今後の課題)

多様化する市民ニーズとともに、公共の担う範囲は拡大してきており、公共サービスの効率的・安定的な提供など、引き続き、行財政改革をすすめることが必要です。

8 . 地方分権への対応

(これまでの取り組み内容)

市民と協働で自主・自律のまちづくりに向け、まちづくり基本条例を制定すると

ともに、様々な市民協働の取り組みを推進してきました。また、北海道に対する権限移譲の要望を行ってきました。

市町村合併については、協議を行ったものの合併には至りませんでした。

・北海道に対する権限移譲要望件数（54 権限）
-------------------------

（今後の課題）

分権時代に対応したまちづくりをすすめるため、まちづくり基本条例に基づき、市民と協働しながら、自主・自立の自治体経営をすすめることが必要です。

## 第2節 コミュニティの形成

### 政策の基本方向

- ・ぬくもりのある、ともに支えあうコミュニティの形成  
市民相互の交流や連携のもと、自主的なコミュニティ活動を促進し、ともに支えあうコミュニティの形成をすすめます。  
また、総合計画に基づく施策を展開するにあたり、地区・住区ごとのバランスに配慮し、諸計画や諸施策を総合的、効果的にすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. コミュニティ活動の促進

##### (これまでの取り組み内容)

町内会の活動支援をすすめるとともに、市民活動情報コーナーやボランティアセンターの設置などによりNPOやボランティア活動の支援を行ってきました。

町内会の加入率が減少している一方で、NPO法人数は着実に増加しており、NPOによる活発な地域活動が行われています。

・NPO法人数（H16：23団体 H19：46団体）

##### (今後の課題)

地域の連帯感の希薄化とともに、地域力の低下がすすんでおり、町内会の活性化をはじめ、市民グループ、NPO、ボランティア団体などの活動支援、地域活動を行っている組織間の連携促進が必要です。

#### 2. コミュニティの整備

##### (これまでの取り組み内容)

地域活動の拠点として、新たな地域福祉センターの整備のほか、老朽化した施設の建替や改修をすすめてきました。

・福祉センター新設・建替数（3施設）

##### (今後の課題)

今後も、地域におけるコミュニティ活動を支えるため、コミュニティ施設の計画的な整備が必要です。



## 第2部 各論編

### 第1章 安心安全都市

#### 第1節 保健・医療

##### 政策の基本方向

- ・保健・福祉・医療が連携した生涯にわたる健康づくり  
すべての市民が心身ともに健康で生涯を暮らせるよう、保健予防、母子保健、成人保健活動を充実し、保健・福祉・医療が連携する総合的な健康づくりを推進します。
- ・安心して暮らせる地域保健医療体制の充実  
市民が安心して暮らすことができるよう、救急医療体制や地域医療体制の充実をはかります。

##### 主要な施策の実施状況

###### 1. 保健予防活動の充実

###### (これまでの取り組み内容)

食生活改善推進員や健康づくり推進員の養成を通じ、地域における食生活の改善や健康づくり活動を促進してきました。

また、予防接種（風しん・麻しん・ポリオ・三種混合・二種混合・BCG）の実施、インフルエンザ予防接種経費の助成など保健予防活動をすすめてきたほか、保健福祉センターの整備をすすめてきました。

・予防接種の接種者数（H16：13,871人 H19：13,136人）

###### (今後の課題)

感染症の予防とまん延防止のため、予防接種の促進や新たな感染症対策などが必要です。

###### 2. 成人保健活動の充実

###### (これまでの取り組み内容)

健康相談や健康教育、基本健康診査、各種ガン検診など、保健指導や検診機会の提供をすすめ市民の健康づくりに対する意識向上や健康づくり活動を促進してきました。

また、高齢者の機能訓練事業による介護予防や身体障害者の体力向上トレーニングなどにより成人保健の充実に取り組んできたほか、臓器提供の普及啓発などをすすめてきました。

・基本健康診査受診率（H15：32.3% H19：34.4%）

（今後の課題）

生活習慣病やこころの病などが増加する中、生涯を通じた健康づくりが重要となっており、引き続き、生活習慣病予防のための保健指導をすすめるなど、市民が自ら健康の維持増進に取り組むための環境づくりが必要です。

3．母子保健活動の充実

（これまでの取り組み内容）

妊産婦・乳幼児の健康診査や就学前児童の医療費助成を充実してきたほか、支援が必要な妊産婦・乳幼児に対する訪問指導や母性相談・乳幼児相談をすすめ、妊婦や乳幼児の健康の保持・増進を促進してきました。

また、2歳児相談等の実施により、障害や発達の遅れを早期に発見し、適切な療育をすすめるとともに、児童虐待防止のため対策協議会の設置や心理相談員の配置をすすめてきました。

・新生児訪問実施数（H16：313人/年 H19：552人/年）

（今後の課題）

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのため、今後も健康診査や相談対応などをすすめるとともに、児童虐待の早期発見や予防に取り組むことが必要です。

4．地域保健医療体制の充実

（これまでの取り組み内容）

医療機関における医療設備の導入支援などのほか、二次・三次救急などの救急医療体制の整備をすすめてきました。

また、老人保健施設の整備支援をすすめてきたほか、看護師養成機関への支援により看護師の養成を促進してきました。

・看護師養成機関の卒業生数（H17～H19：357人）

（今後の課題）

医師や医療スタッフの不足、診療科の偏在などが懸念されており、市民が安心して医療が受けられるよう、休日や夜間における安定的な救急医療体制が必要です。

## 5．市立病院の充実

(これまでの取り組み内容)

市立病院については、基本計画を策定し、整備に向けた検討をすすめましたが、医師確保が困難であることなどから廃院しました。

## 第2節 地域福祉活動

### 政策の基本方向

- ・ うるおいのある福祉社会づくり  
家庭・地域社会・団体・行政が連携し、ともに支えあう地域福祉の環境づくりをすすめ、うるおいのある福祉社会を形成します。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 地域福祉活動の充実

##### (これまでの取り組み内容)

帯広市社会福祉協議会に対する活動支援、民生委員・児童委員の適正配置をすすめ、市民の多様な相談に対応してきました。

また、町内会における援助活動への支援や地域交流サロン事業の実施、地域福祉の拠点としてグリーンプラザの整備などをすすめ、町内会、ボランティアなどとも連携した地域福祉活動を促進してきました。

- ・ 民生委員・児童委員の訪問回数（H15：23,436回/年 H19：26,429回/年）

##### (今後の課題)

暮らし慣れた地域で支え合いながら生活することができる環境づくりが一層重要になってきており、福祉団体の活動支援や民生委員・児童委員の適正配置をすすめ、行政と地域住民が連携しながら地域福祉活動をすすめることが必要です。

#### 2. ボランティア活動の促進

##### (これまでの取り組み内容)

ボランティアセンターの設置、ボランティアコーディネーターの配置、ボランティア養成講座の実施、ボランティア保険の掛金助成などを通じて、ボランティアの活動拠点や相談体制の整備、ボランティアの育成や活動促進をはかってきました。

- ・ ボランティアセンター利用者数（H16：1,324人/年 H19：3,125人/年）

##### (今後の課題)

今後も、地域福祉の担い手としてボランティア活動を一層促進するため、市民がボランティア活動に参加しやすい環境づくりをすすめることが必要です。

## 第3節 高齢者福祉

### 政策の基本方向

- ・ 高齢者が安心して生活できる総合的な環境づくり  
地域の保健・福祉・医療などの機関や施策のネットワークによる、相互に連携した総合的な高齢者福祉の取り組みをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 高齢者の生きがいづくり

##### (これまでの取り組み内容)

高齢者学級の開設や単身高齢者を対象とした友愛訪問活動の促進、老人クラブの活動促進などにより、高齢者の生きがいづくりを推進してきました。

- ・ 友愛訪問活動実施数 (H16 : 23,684 件/年 H19 : 26,393 件/年)

##### (今後の課題)

高齢者が積極的に社会と関わり、健康を保ちながら生きがいを持って生活を送るため、様々な活動への参加・交流の支援や就業機会の確保などが必要です。

#### 2. 在宅サービスの充実

##### (これまでの取り組み内容)

配食サービスやデイサービス、ショートステイなどの在宅サービスの提供のほか、高齢者緊急通報システムの整備や小規模多機能型居宅介護拠点、地域包括支援センターなど、各種在宅サービスの充実や緊急時対策、介護支援機能の充実をすすめてきました。

- ・ 配食サービスによる配食数 (H15 : 58,052 食/年 H19 : 79,935 食/年)
- ・ デイサービスセンター整備箇所数 (7 箇所)
- ・ ショートステイ整備床数 (50 床)
- ・ 小規模多機能型居宅介護整備箇所数 (2 箇所)
- ・ 地域包括支援センター整備箇所数 (4 箇所)

##### (今後の課題)

高齢者の自立した生活を支援するため、介護予防を推進するとともに、在宅福祉サービスや相談体制の充実が必要です。

#### 3. 施設サービスの充実

##### (これまでの取り組み内容)

特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、老人保健施設、生活支援ハウスなどの整

備を促進し、介護などを必要としている高齢者の受け入れ体制の整備をすすめてきました。

- ・特別養護老人ホーム増床数（179床）
- ・生活支援ハウス整備数（1箇所・20床）

（今後の課題）

高齢化の進行とともに、特別養護老人ホームなど施設の待機者数は年々増加しており、在宅での生活が困難な高齢者を支えるための施設整備が必要です。

#### 4．居住環境の整備

（これまでの取り組み内容）

高齢者向け優良賃貸住宅の整備促進やユニバーサルデザイン住宅の新築・改造に対する融資・助成などをすすめ、高齢者にとって住みよい居住環境づくりをすすめてきました。

- ・ユニバーサルデザイン住宅改造資金補助件数（330戸）

（今後の課題）

今後も、高齢者のための良好な居住環境を確保するため、公的な賃貸住宅の整備やユニバーサルデザイン住宅の普及を促進することが必要です。

#### 5．総合的なサービス提供体制の整備

（これまでの取り組み内容）

保健福祉センターの整備や高齢者総合相談員の配置、介護保険事務体制の整備などをすすめ、福祉サービスや介護など高齢者に関する様々な相談に対し、総合的な対応を行ってきました。

- ・高齢者総合相談窓口での対応件数（H15：1,046件/年 H19：1,675件/年）

（今後の課題）

保健、福祉、医療、介護など高齢者やその家族が抱える問題は様々であり、今後も、相談体制の充実など、総合的に対応していくことが必要です。

## 第4節 障害者福祉

### 政策の基本方向

- ・ 障害者の自立と社会参加を促進する環境づくり  
障害者が安心して生活でき、社会参加ができる環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. ノーマライゼーション（正しい障害者観）の定着

##### （これまでの取り組み内容）

帯広駅「福祉のひろば」の運営や地域におけるノーマライゼーション活動の促進に取り組んできたほか、障害者団体の活動支援を通じ、障害者との交流や意識啓発をすすめてきました。

- ・ ノーマライゼーション推進地区数（4地区）

##### （今後の課題）

互いに支えあう地域社会づくりのため、障害のある人に対する理解を深めていくことが重要であり、今後も、意識啓発や交流促進をはかる必要があります。

#### 2. 社会参加の促進

##### （これまでの取り組み内容）

関係機関と連携し、障害者の雇用促進に取り組んできたほか、知的障害者スポーツ教室の開催、車椅子ガイドマップの作成など社会参加の機会提供・支援をすすめてきました。

また、点字ボランティアの養成、声の図書や点字本の貸出など、音訳・校正機能の整備などにより、障害者の社会参加を促進してきました。

- ・ 音声図書・点字本の利用件数（H15：13,245件/年 H19：15,042件/年）

##### （今後の課題）

障害者が在宅で自立した生活を送ることができるよう、就労支援をはじめ積極的に社会に参加することができる環境づくりが必要です。

#### 3. 福祉サービスの充実

##### （これまでの取り組み内容）

妊婦健康診査の公費負担の拡大や各種相談・指導の実施など、障害の予防・早期発見・早期療育体制を充実してきたほか、中途失明者に対する日常生活訓練、ホームヘルプサービス、ショートステイサービスなど各種在宅サービスの提供をすすめ

てきました。

また、ピアカウンセラーや総合相談員を配置し、相談体制の充実をすすめてきました。

・在宅サービス利用率（H15：7.0% H19：13.1%）

（今後の課題）

障害のある人が住みなれた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、在宅支援中心とした福祉サービスの提供が必要です。

#### 4．居住環境の整備

（これまでの取り組み内容）

ユニバーサルデザイン住宅の新築・改造に対する融資・助成のほか、柏林台地区においてユニバーサルデザインによる道路整備をすすめ、障害者が地域で安心して生活を送るための居住環境の整備をすすめてきました。

・ユニバーサルデザイン住宅改造資金補助件数（330戸）

（今後の課題）

今後は、グループホームやケアホームの設置促進など、障害者が地域社会で自立した生活を送るための居住環境の整備が必要です。

#### 5．施設の整備

（これまでの取り組み内容）

救護施設（東明寮）の移転改築、小規模共同作業所の整備促進などにより、障害者の生活や自立を支援するための施設整備をすすめてきました。

・小規模共同作業所支援施設数（5箇所）

（今後の課題）

施設入所から地域生活への移行を促進していくため、在宅生活・自立生活の支援をすすめることが必要です。



## 第5節 児童福祉

### 政策の基本方向

- ・安心して子どもを産み、育てることができる環境づくり  
地域をあげた子育て支援のしくみづくりや保育機能の整備・拡充など、子どもたちが健やかに育つ良好な環境づくりをすすめるとともに、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 保育施設の整備

##### (これまでの取り組み内容)

保育所の再編・民間移管や老朽化した保育所の改築・改修、児童保育センターの新設など保育施設の整備により、保育所の入所待ち日数の減少や児童保育センター受入枠が拡大するなど、保育環境の整備をすすめてきました。

- ・保育所の年度途中入所待ち平均日数（H15：38日 H19：10日）

##### (今後の課題)

今後も、地域の保育需要を踏まえながら、公立保育所の再編や児童保育センターの整備をすすめることが必要です。

#### 2. 保育サービスの充実

##### (これまでの取り組み内容)

乳児、障害児の受入や延長保育実施保育所の拡大、休日・一時的保育の実施、共同保育所への支援をすすめ、多様なニーズに対応した保育サービスを提供してきました。

- ・延長保育新規実施保育所数（7所）

##### (今後の課題)

核家族化や女性の社会進出など子育て環境の変化とともに保育に対するニーズは多様化しており、今後も様々なニーズに対応した保育サービスの提供が必要です。

#### 3. 総合的な子育て支援

##### (これまでの取り組み内容)

育児休業普及奨励金の支給や地域子育て支援センターの設置・運営、放課後子ども

も広場の開設、子育てガイドブックの作成などにより、子どもの遊び場や保護者同士の交流機会の提供、子育てに関する情報提供の充実に取り組んできました。

・地域子育て支援センター相談件数（H15：597件/年 H19：1,257件/年）

（今後の課題）

今後も地域で子育てを行うための環境づくりに向け、育児相談への対応やボランティアによる子育て支援など、地域において子育てを支える体制づくりが必要です。

#### 4．母子・父子福祉の充実

（これまでの取り組み内容）

母子自立支援員の配置により、ひとり親家庭に対する相談体制の整備をすすめてきました。

また、家庭生活支援員の派遣による日常生活支援や就職のための教育訓練講座の受講支援など、ひとり親家庭への支援体制の充実に取り組んできたほか、児童養護施設の改築・民間移管を行いました。

・母子支援員相談件数（H15：549件/年 H19：647件/年）

（今後の課題）

ひとり親家庭を支援するため、引き続き、様々な相談への対応や経済的負担の軽減、自立に向けた支援をすすめることが必要です。

## 第6節 アイヌの人たちの福祉

### 政策の基本方向

- ・アイヌの人たちの民族的な誇りが尊重される地域社会づくり  
アイヌの人たちの生活向上、教育の振興や文化の保存・伝承など、総合的な取組みをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. アイヌ民族・文化への理解促進

##### (これまでの取り組み内容)

アイヌ古式舞踊の保存活動や伝承団体への支援、アイヌ民族文化情報センターの開設、伝統的生活空間（イオル）再生事業の十勝圏への誘致活動などをすすめてきました。

普及啓発事業への参加・来場者数が増加するなど、アイヌ民族・文化への理解促進がはかられました。

- ・普及啓発事業への参加・来場者数（H15：618人/年 H19：750人/年）
- ・アイヌ民族文化情報センターの利用者数  
（H18：4,626人/年 H19：5,562人/年）

##### (今後の課題)

十勝におけるアイヌ文化の拠点づくりを促進するなど、アイヌの人たちの歴史・文化に関する知識の一層の普及に努める必要があります。

#### 2. 生活・教育環境の整備

##### (これまでの取り組み内容)

下水排水路（雨水）の整備や住宅新築等の資金貸付などを行ってきたほか、アイヌ生活相談員を配置し生活に関する相談に対応するなど、生活環境の整備をすすめてきました。

また、教育相談員を配置し教育指導を行うとともに、遠隔地に就学中の子弟の親に対する教育扶助を行うなど、教育環境の整備をすすめてきました。

- ・アイヌ生活相談員による相談・指導件数  
（H15：120人/年 H19：555人/年）

##### (今後の課題)

今後も、アイヌの人たちの生活の向上に向けて、就労の促進や教育支援などをすすめる必要があります。

## 第7節 社会保障

### 政策の基本方向

- ・国民健康保険の充実の促進  
市民の健康を守るため、安定的な健康保険制度の維持に取り組みます。
- ・国民年金制度の充実促進  
安心できる年金制度の維持・普及をすすめます。
- ・介護保険制度の適切な運営  
新たに制度化された介護保険制度の適切な運営を行ないます。
- ・低所得者層の自立の支援  
所得の低い世帯の生活安定のため、相談などをおして自立の助長をはかりま  
す。

### 主要な施策の実施状況

#### 1．国民健康保険の運営

##### （これまでの取り組み内容）

国民健康保険財政の健全化により被保険者の負担軽減をはかるとともに、医療費抑制のため、人間ドックをはじめとする保健事業の充実に取り組んできました。また、国に対して国民健康保険制度の改善要請を行ってきました。

高齢化とともに一人当たりの年間医療費は増加していますが、全国平均との差は縮小しており、国民健康保険制度の健全運営をすすめてきました。

・年間医療費の地域差指数〔全国平均を1.000とした場合の指数〕  
(H15：1.102 H19：1.052)

##### （今後の課題）

今後も高齢化による医療費の増加が見込まれることから、保健事業の一層の推進などにより医療費の抑制をはかり、持続可能な制度運営を行うことが必要です。

#### 2．国民年金制度の運営

##### （これまでの取り組み内容）

広報誌やパンフレットなど様々な媒体を活用した情報提供や窓口における案内により、国民年金制度の理解促進に取り組むとともに、国に対して年金制度の改善要請を行ってきました。

・年金のしおり作成枚数（H16：6,000枚/年 H19：5,300枚/年）

##### （今後の課題）

市民が適切に年金を受給することができるよう、一層の制度の普及啓発をすすめることが必要です。

### 3．介護保険制度の運営

#### (これまでの取り組み内容)

市民が適切に介護サービスを受けることができるよう、介護保険制度を適切に運営するとともに、広報紙やパンフレットなどにより制度の理解促進に取り組んできました。

・パンフレット作成枚数（H17：8,000枚/年 H19：9,000枚/年）

#### (今後の課題)

高齢化とともに要支援・要介護認定者が増加傾向にあり、介護予防事業の推進により財政の健全化をはかりながら、持続可能な制度運営をすすめることが必要です。

### 4．生活の援護

#### (これまでの取り組み内容)

保護を必要とする人たちを早期に把握し、公共職業安定所と連携した就労支援など自立に向けた支援をすすめるとともに、生活福祉資金の貸付制度などに取り組み、所得の低い世帯の生活安定をはかってきました。

・面接相談等の実施件数（H17：956件/年 H19：986件/年）

#### (今後の課題)

被保護世帯は増加傾向にあり、適正な制度運用を行うとともに、就労支援など自立に向けた支援をすすめることが必要です。

## 第8節 墓園

### 政策の基本方向

- ・新しい墓地の整備  
つつじが丘霊園の整備とともに、新たな墓地の整備をすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 墓園の整備

(これまでの取り組み内容)

中島霊園の造成・整備や既存墓地の環境整備などをすすめ、需要に応じた墓地区画を提供してきました。

- ・墓地区画造成数(1,469区画)

(今後の課題)

墓地の需要は今後さらに増加することが予測されており、埋葬方法など墓地への多様化する市民のニーズに対応しながら、計画的に墓地整備をすすめることが必要です。

## 第9節 防災・消防

### 政策の基本方向

- ・災害に強く安心できるまちづくり  
市民や関係機関などと連携して、防災・消防体制、救急救命体制を整備し、安全で安心できる地域づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1．災害に強い都市基盤整備

##### （これまでの取り組み内容）

校舎や屋内体育館の耐震診断を行い、耐震補強や改築をすすめるとともに、老朽化した配水管の更新など、災害に強い都市基盤づくりに取り組んできました。

- ・屋内体育館耐震化率（H16：44.8% H19：71.9%）

##### （今後の課題）

大規模な地震から市民の安全や生活を守るため、建築物や上水道などの耐震化をすすめることが必要です。

#### 2．防災意識づくり

##### （これまでの取り組み内容）

連合町内会と連携し、地域防災訓練を実施してきたほか、防災パンフレットの作成・配布など、様々な機会を捉え、啓発活動を行い、防災意識の向上をはかってきました。

- ・地域防災訓練実施回数（1回/年）

##### （今後の課題）

市民一人ひとりの防災に対する意識を高めることが重要であり、引き続き防災訓練や情報提供を効果的にすすめていくことが必要です。

#### 3．防災体制の充実

##### （これまでの取り組み内容）

食料など災害用備蓄品の更新や物資供給の災害協定の締結をすすめ、災害用備蓄品の確保をすすめてきたほか、緊急貯水槽や防火水槽の設置により、飲料水や防火用水の確保をすすめてきました。

また、自主防災組織の設立を促進し、地域における防災体制の整備をはかってきました。

- ・緊急貯水槽設置数（4基）
- ・防火水槽設置基数（4基）
- ・自主防災組織数（H15：4地区 H19：22地区）

（今後の課題）

災害への迅速な対応のため、地域住民による初動活動体制の整備や高齢者や障害者など、災害時に援護が必要な人に対する支援体制整備など、防災体制づくりが必要です。

#### 4．救急救命体制の充実

（これまでの取り組み内容）

救急救命士資格者の養成・採用や高規格救急車の導入により、高度な救急救命処置を行うことができる救急救命体制の整備をすすめてきたほか、市民・事業所などを対象に救命講習を実施してきました。

- ・救急救命士養成数（18名）
- ・救急車の高規格率（H16：60% H19：80%）
- ・救命率（H11～H15平均：4.5% H19：5.1%）

（今後の課題）

今後も、救急体制の整備をすすめるとともに、市民への応急手当の知識・技術の普及をすすめ、迅速に対応できる救急体制を整備していくことが必要です。

#### 5．消防体制の充実

（これまでの取り組み内容）

消防車両の更新や消火栓の新設・更新、新南出張所の建設などを行い、火災時に迅速な消火活動ができる消防体制の整備をすすめてきました。

- ・消防車両の更新台数（5台）
- ・消火栓の新設数（26基）
- ・消火栓の更新数（56基）

（今後の課題）

火災から市民の生命・財産を守るため、引き続き、消防体制の充実に取り組むとともに、消防の広域化の検討をすすめることが必要です。

#### 6．防火安全対策の推進

（これまでの取り組み内容）

講習会の開催により事業所の防火管理者の育成など、事業所の防火安全対策をすすめてきたほか、高齢者をはじめとする災害弱者世帯の訪問指導などにより防火意



識の啓発をすすめてきました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 防火管理者の選任率 (H15 : 83.3% H19 : 90.5%)</li><li>・ 防火訪問実施世帯数 (H16 : 890 世帯/年 H19 : 1,024 世帯/年)</li></ul> |
|---|

(今後の課題)

市民の意識向上による火災予防や初期消火の体制づくりのため、引き続き、市民や事業所への意識啓発や自主的な防火の取り組みを促進することが必要です。

## 第10節 交通安全

### 政策の基本方向

- ・交通事故の絶滅をめざした運動の推進  
交通安全対策を総合的に推進し、交通事故や死傷者の絶滅をめざした取り組みを強力にすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 交通安全思想の普及徹底

##### (これまでの取り組み内容)

学校・保育所・幼稚園・老人クラブ等を対象とした交通安全教室や街頭啓発など、関係団体・関係機関と連携した交通安全運動をすすめ、交通安全思想の普及に取り組んできました。

- ・交通安全教室の参加者数 (H15: 24,742 人/年 H19: 31,140 人/年)
- ・交通安全運動の活動延べ人数 (H16: 1,560 人/年 H19: 1,684 人/年)

##### (今後の課題)

高齢者の交通安全に対する意識向上が重要となっており、今後も、関係団体・関係機関と連携しながら、様々な機会を捉えて啓発活動をすすめる必要があります。

#### 2. 交通安全環境の整備

##### (これまでの取り組み内容)

横断歩道の改良、歩道整備、スクールゾーン表示整備、道路照明灯設置、区画線設置、道路標識設置、反射鏡設置、視線誘導標設置、交差点改良などをすすめ、歩行者・車両の円滑な交通と安全で安心な道路環境の整備に取り組んできました。

- ・横断歩道の改良 (65 箇所)
- ・歩道整備延長 (57,056m)
- ・スクールゾーン表示整備 (56 箇所)
- ・道路照明灯 (77 基)

##### (今後の課題)

今後も、市民からの要望を踏まえ、交通標識や信号機など交通安全施設の整備促進や歩道の整備をすすめる必要があります。

## 第11節 防犯

### 政策の基本方向

- ・暴力や犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりの推進  
家庭、地域、関係機関が連携して防犯運動を展開し、安全で安心できるまちづくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 自主的防犯活動の促進

##### (これまでの取り組み内容)

防犯診断や防犯パトロール、防犯パレードなどの防犯活動を行う団体への支援を通じて、防犯の意識啓発をすすめるとともに、「帯広市犯罪のない安全なまちづくり条例」を制定し、関係機関、関係団体などと連携しながら、自主的防犯活動の促進に取り組んできました。

- ・防犯活動参加者数（H16：2,609人/年 H19：3,917人/年）

##### (今後の課題)

今後も、市民一人ひとりの防犯意識を高めていくため、防犯に関する学習機会や情報の提供をすすめ、地域の防犯活動を促進していくことが必要です。

#### 2. 防犯体制の充実

##### (これまでの取り組み内容)

派出所における警察官の配置体制について、関係機関への要請活動を行いました。

- ・東4条交番の警察官配置人数（1名増）

##### (今後の課題)

引き続き、関係機関と連携しながら、犯罪のない安全なまちづくりをすすめていくことが必要です。

#### 3. 街路灯の充実

##### (これまでの取り組み内容)

町内会との連携により街路灯の設置をすすめ、暗がりの改善に取り組んできました。

- ・街路灯設置基数（980灯）

(今後の課題)

防犯灯の設置による暗がりの解消など、地域が連携・協力して、犯罪の起きにくい環境づくりをすすめる必要があります。

## 第12節 消費生活

### 政策の基本方向

- ・消費者の自立促進と消費生活の安定・向上の推進  
正しい知識をもつ自立した消費者を育成し、消費生活の安定、向上をはかります。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 消費者の保護

##### (これまでの取り組み内容)

消費生活アドバイスセンター機能を充実し、消費者被害に対する相談対応を行ってきました。

また、消費者講座や講演会など被害予防に向けた消費者教育をすすめるなど、消費者への意識啓発に取り組んできました。

- ・消費者被害の救済率（H15：60% H19：63%）

##### (今後の課題)

消費者トラブルや被害を未然に防ぐため、消費者教育や情報提供など、消費者が適切な判断を行うための支援をすすめることが必要です。

#### 2. 公正取引の促進

##### (これまでの取り組み内容)

計量・量目の適正化を促進するとともに、生活物資の価格動向の調査など事業者活動の適正化に向けた取り組みをすすめ、適正な取引を促進してきました。

- ・計量器検査における不合格率（H15：2.6% H19：1.6%）

##### (今後の課題)

量目や商品表示の適正化により、消費者が安心できる適正な取引を促進するため、事業所に対する検査や指導を行う必要があります。

## 第2章 産業複合都市

### 第1節 産業間連携

#### 政策の基本方向

- ・地域特性を生かした、産業の複合化による産業クラスターの形成  
地域の資源や技術を生かし、産学官の幅広い連携により、十勝型の産業クラスターを形成します。

#### 主要な施策の実施状況

##### 1. 十勝型産業クラスターの形成

###### (これまでの取り組み内容)

産業クラスター研究会の活動支援や産学官のネットワーク強化をすすめるとともに、十勝産業振興センターの整備、支援相談体制の整備により、産学官連携のコーディネートや情報提供、研究開発・技術向上などの支援をすすめてきました。

また、異業種間の連携による事業化・商品化や産学官が連携した農畜産物の高付加価値化の取り組みがすすんできています。

- ・異業種交流会への参加人数（H15：1,170人/年 H19：1,322人/年）
- ・産業クラスター研究会の活動などにより事業化・商品化された述べ件数（H15～H19：13件）
- ・試験研究機関における連携事業数（79事業）

###### (今後の課題)

産業間連携の推進が重要であり、農商工の連携強化や大学・試験研究機関などの知的資源の活用により、農畜産物などの付加価値向上や新技術・新製品の開発などをすすめることが必要です。

##### 2. 広域的な産業振興のしくみ

###### (これまでの取り組み内容)

十勝圏振興機構や道立十勝圏地域食品加工技術センターの産業振興事業に対する支援を通じ、農業を核とした広域的な産業振興に取り組んできました。

- ・十勝圏振興機構の試験研究事業数（45件）

###### (今後の課題)

今後も、十勝圏振興機構などと連携しながら、技術力の向上や技術者の養成をすすめ、ものづくり産業の総合的な支援に取り組んでいくことが必要です。

### 3. 市場の開拓

#### (これまでの取り組み内容)

十勝ブランド認証制度の導入により、十勝の加工食品の品質向上や消費者への効果的な情報提供をはかるとともに、各種見本市への企業の出展支援などにより、販路の拡大をすすめてきました。

・十勝ブランド認証件数 (H15 : 13 件 H19 : 130 件)
--------------------------------------

#### (今後の課題)

地元製品の流通のため、今後もブランド力を高めながら、販路開拓などを促進していく必要があります。

## 第2節 農林業

### 政策の基本方向

- ・国内外の環境変化に対応する個性的で効率的な農業の展開  
食料生産基地として健全な農業の維持発展をはかり、国内外の環境変化に対応する個性的で多様な地域農業を確立するとともに、効率的な農業を展開します。
- ・うるおいのある農村の創造  
生産を支える場としての機能を維持するとともに、自然と調和した地域文化を育む、個性やうるおいあふれる農村づくりをすすめます。
- ・自然環境と公益的機能の充実をはかる森林づくり  
森林の計画的な管理及び公益的機能の充実をはかり、適切な森林づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 生産基盤の整備

##### (これまでの取り組み内容)

国営土地改良事業や道営畑地帯総合整備事業の推進により、明渠排水、暗渠排水、土層改良などをすすめるとともに、八千代牧場の機能強化、農道整備などをすすめ、生産の拡大や農業経営の安定化をはかってきました。

・農業産出額（H9～H15 平均：260 億円 H19：270 億円）

##### (今後の課題)

地域の基幹産業である農業の振興のため、引き続き、生産基盤の整備をすすめ、生産性、収益性の向上をはかることが必要です。

#### 2. 良質な食料生産の推進

##### (これまでの取り組み内容)

新技術の開発、導入に取り組む農家グループへの支援や農業施設の整備促進、クリーン農業の推進などにより、安全で質の高い農畜産物の生産を促進してきました。

・Yesクリーン等認証登録農家数（H16：64 戸 H19：147 戸）

##### (今後の課題)

安全で良質な農畜産物の生産に向けた取り組みが重要となっており、農薬や化学肥料の使用が少ない農業への取り組みが必要です。



### 3. 個性的な農業の推進

#### (これまでの取り組み内容)

認定農業者を育成してきたほか、農業技術・知識などの研修をすすめ、農業後継者・新規就農者を育成してきました。

また、農業改良普及センターと連携した研修などにより、女性や高齢者の活動を促進してきました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・認定農業者数 (H15 : 498 戸 H19 : 714 戸)</li><li>・農業塾卒塾生 (H17~H19 : 29 人)</li></ul> |
|--|

#### (今後の課題)

今後は、農業者の経営能力の向上を支援し、地域農業を支える担い手の育成をすすめることが必要です。

### 4. 加工・流通・販売の促進

#### (これまでの取り組み内容)

食の安全・安心推進プランに基づき、農畜産物の安全安心対策をすすめてきたほか、朝市の開催や地場産小麦の加工流通の検討など地産地消・販路拡大に取り組んできました。

また、十勝ブランド認証制度の導入を通じ、付加価値化の高い加工食品づくりや消費者への効果的な情報提供をすすめてきました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・朝市などの販売箇所数 (H17 : 11 箇所 H19 : 17 箇所)</li><li>・十勝ブランド認証件数 (H15 : 13 件 H19 : 130 件)</li></ul> |
|--|

#### (今後の課題)

農畜産物の加工、高付加価値化や消費者との交流による地域農業への理解促進、地場農畜産物の消費拡大が必要です。

### 5. 環境と調和した農業の推進

#### (これまでの取り組み内容)

長いもネットなど生分解性資材の導入を促進するとともに、堆肥舎の整備など畜産農家の環境対策の促進、有機循環型農業の推進などに取り組んできました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・生分解性資材の普及率 (H16 : 5.6% H19 : 23.3%)</li></ul> |
|--|

#### (今後の課題)

地域に豊富にあるバイオマス資源を有効に活用しながら、環境と調和した農業をすすめることが必要です。

## 6．個性的な農村づくり

### （これまでの取り組み内容）

生産を支える場としての農村の機能を維持するため、農業集落排水施設や農村公園、借上公営住宅の整備などをすすめ、農村の機能整備に取り組んできました。

- ・個別排水整備基数（274基）
- ・農村公園整備地区数（3地区）

### （今後の課題）

農業生産を支える場としての農村集落の機能維持のため、快適な生活環境づくりやコミュニティの維持、定住の促進などが必要です。

## 7．文化を育む農村づくり

### （これまでの取り組み内容）

とかち大平原交流センターの整備や八千代牧場まつりの実施、市民農園の開放などをすすめてきました。

また、農業技術センターにおける小中学校の農業体験学習の受け入れをすすめるなど、都市と農村の交流、農業理解の促進に取り組んできました。

- ・大平原交流センターの利用者数（H18：7,976人/年 H19：11,071人/年）

### （今後の課題）

農業は食育など多面的機能を持っており、農業生産者と消費者の交流による農業理解の促進や食育などをすすめることが必要です。

## 8．林業の振興

### （これまでの取り組み内容）

森林施業計画に基づき市有林の収穫・造成をすすめてきたほか、林道整備や担い手の育成などをすすめてきました。

森林の適切な維持により、森林が持つ多面的機能が発揮されています。

- ・施業面積（1,180.47ha）
- ・売払量（21,906 m<sup>3</sup>）

### （今後の課題）

二酸化炭素吸収源として森林への期待が高まっており、今後も森林の持つ様々な機能を維持していくため、森林の適切な管理・保全や担い手の育成、木材の利活用を促進などが必要です。

## 第3節 工業

### 政策の基本方向

- ・産業間連携による内発型の工業の振興  
地域の産業間、企業間の連携を強化し、新たな産業や市場を創出しながら工業集積を高め、内発型の地場工業の振興をはかります。

### 主要な施策の実施状況

#### 1．技術開発力の向上

##### （これまでの取り組み内容）

産業クラスター研究会の活動支援のほか、十勝産業振興センターの整備、支援相談体制の整備、情報提供などにより、研究開発・技術向上などの支援をすすめてきました。

- ・異業種交流会への参加人数（H15：1,170人/年 H19：1,322人/年）
- ・産業クラスター研究会の活動などにより事業化・商品化された述べ件数（H15～H19：13件）
- ・試験研究機関における連携事業数（79事業）

##### （今後の課題）

地域資源を活用し付加価値を高めていくため、技術力の強化や技術者の養成などをすすめ、地域資源を活かした新技術・新製品の開発などをすすめていくことが必要です。

#### 2．経営基盤の強化

##### （これまでの取り組み内容）

経営専門アドバイザーの配置や新事業進出支援資金の融資などを行ってきており、各企業においては、新製品の開発や新分野・新事業への進出などの経営基盤の強化に向けた取り組みがすすめられました。

- ・新事業進出支援資金融資額（207,000千円）

##### （今後の課題）

中小企業は依然と厳しい経営環境にあり、相談体制の充実や円滑な資金供給などにより経営基盤の強化を促進することが必要です。

#### 3．人材の育成・誘致

##### （これまでの取り組み内容）

中小企業の従業員・経営者を対象とした研修など中小企業相談所が行う人材育成

事業への支援や工業ゼミナールの開催、異業種交流会の支援などにより、中小企業の担い手育成をすすめてきました。

・ 中小企業相談所研修参加者数（H15：1,169人/年 H19：2,391人/年）

（今後の課題）

地域産業の持続的な発展をはかるため、関係団体と連携しながら、担い手の育成をすすめていく必要があります。

#### 4．産業立地の促進

（これまでの取り組み内容）

西20条北工業団地の販売を促進するとともに、企業立地補助などにより企業立地を促進してきました。

・ 西20条北工業団地〔産業開発公社取得分〕の販売区画等数（H15～H19：17件）  
・ 企業立地件数（H15～H19：3件）

（今後の課題）

企業誘致は、地場企業への波及効果や雇用拡大のほか、地域の技術力向上にもつながるものであり、企業立地の促進に向け、企業が立地しやすい環境づくりをすすめる必要があります。

## 第4節 商業・サービス業

### 政策の基本方向

- ・ぬくもりとふれあいのある商業・サービス拠点の形成  
買い物のみならず、暮らしや交流、教養・文化、娯楽などの機能をもつ商業環境の整備をすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 商店街の整備

##### (これまでの取り組み内容)

快適に買い物ができるよう商店街の環境整備やロードヒーティングの維持を支援してきました。

また、商店街が行う催事事業など賑わいづくりの取り組みへの支援や新規開業の支援などをすすめてきました。

- ・開業店舗数 (H17 : 3 店舗/年 H19 : 6 店舗/年)

##### (今後の課題)

商店街同士が連携した活性化の取り組みや商店街の環境整備への支援とともに、相談対応や資金面の支援など開業への支援等が必要です。

#### 2. 経営基盤の強化

##### (これまでの取り組み内容)

商工会議所と連携し、経営相談への対応に取り組むとともに、新たな資金の創設など融資制度を通じて、資金需要に応じた円滑な資金供給を行ってきました。

また、商業関係団体への支援などを通じて、企業の経営基盤の強化や企業活動の活性化をはかってきました。

- ・中小企業振興融資制度融資額 (H15 : 91 億円/年 H19 : 109 億円/年)

##### (今後の課題)

今後も、相談体制の充実や円滑な資金供給をはじめ、中小企業者などの組織化や組織の活性化を促進し、経営基盤の強化をすすめることが必要です。

#### 3. 中心市街地の活性化

(「第5節中心市街地」に記載)

#### 4. 物流環境の整備

##### (これまでの取り組み内容)

老朽化がすすんでいる開広団地の区域を、街なか居住を促進する区域として中心市街地活性化基本計画に追加し、再整備を促進してきました。

##### (今後の課題)

今後も、情報収集に努めながら再整備の検討をすすめることが必要です。

#### 5. バス交通網の充実(再掲)

##### (これまでの取り組み内容)

大正地区、川西地区において乗合タクシーや乗合バスを導入するとともに、市内バス路線の再編検討をすすめるなど、バス交通網の充実に取り組んできました。

また、十勝・帯広のバス交通の拠点として帯広駅バスターミナルを整備し、乗換えなどのバス交通の利便性の向上をはかってきました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・大正地区乗合タクシー利用者数(H15～H19:16,142人)</li><li>・川西地区乗合バス利用者数(H17～H19:11,202人)</li></ul> |
|---|

##### (今後の課題)

バス交通は利用者の減少が続いていますが、交通弱者の生活を支える足として重要であり、今後も、バス交通の利便性向上や活性化をはかることが必要です。

## 第5節 中心市街地

### 政策の基本方向

- ・中核都市としての都心機能の整備・拡充  
十勝・帯広の顔としての都心機能の整備・拡充をはかり、活力とにぎわいのある都心づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 都心機能の強化

##### (これまでの取り組み内容)

帯広駅周辺土地区画整理事業の推進や北の屋台、高齢者下宿の取り組みに対する支援、帯広駅バスターミナル整備をすすめるとともに、優良建築物による土地の高度利用の促進や都心部借上公営住宅の整備などによる都心居住を促進してきました。

- ・中心市街地居住人口（H17：2,317人 H19：2,435人）
- ・歩行者通行量〔休日〕（H17：22,709人 H19：28,579人）
- ・歩行者通行量〔平日〕（H17：26,086人 H19：22,836人）

##### (今後の課題)

近年、休日の歩行者通行量は増加傾向にありますが、平日の歩行者通行量は依然と減少傾向にあり、中心市街地活性化基本計画に基づき、文化、交流、行政機能などの都市機能の集積を促進するとともに、市民や団体が連携したイベントなどによるにぎわいづくりや都心居住を促進することが必要です。

## 第6節 観光・物産

### 政策の基本方向

- ・十勝の豊かな環境や資源を生かした新しい参加・体験型観光の展開  
雄大な自然や美しい田園風景、農業や食などの地域資源を生かした特色ある参加・体験型の観光づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 観光拠点の整備

##### (これまでの取り組み内容)

観光の拠点として、愛国駅・幸福駅・大正駅の周辺整備やポロシリ自然公園の整備運営をすすめてきました。

- ・ポロシリ自然公園利用者数 (H16 : 2,884 人 H19 : 19,096 人)

##### (今後の課題)

食や景観など特色ある地域資源を活かしながら、観光拠点のさらなる魅力向上をはかることが必要です。

#### 2. 参加・体験型観光の振興

##### (これまでの取り組み内容)

とかち観光物産センターにおいて参加・体験型観光の情報提供をすすめるとともに、ファームステイ希望者の相談対応や農家との調整などを行い、ファームステイの受け入れをすすめてきました。

- ・ファームステイ受け入れ件数 (272 件)

##### (今後の課題)

本市の観光は、通過型観光となっていることから、自然や文化など地域資源を活かした体験・滞在型観光をすすめることが必要です。

#### 3. 観光イベント・コンベンションの充実

##### (これまでの取り組み内容)

平原まつりなどのイベント開催や各種大会・会議の誘致、観光イベント・コンベンションに関する情報提供をすすめるなど、観光イベント・コンベンションの充実に取り組んできました。



・コンベンション参加者数（H15：27千人/年 H19：244千人/年）

（今後の課題）

ラリージャパンが平成20年から道央圏開催となり、今後、コンベンションの誘致や市民・事業者と協働で集客力のある観光イベントを実施していくことが必要です。

#### 4．観光宣伝・受入環境の整備

（これまでの取り組み内容）

取材・ロケへの対応などフィルムコミッションや国内・海外におけるプロモーション活動をすすめ、観光客や旅行代理店、国内・海外に対し、幅広く観光宣伝を行ってきたほか、観光案内板の整備やボランティアガイドの育成支援などをすすめてきました。

・観光パンフレット配布数（H15：39万部/年 H19：59万部/年）  
・取材・ロケ対応件数（H15：15件/年 H19：25件/年）  
・観光案内板設置基数（H16：36基 H19：48基）

（今後の課題）

本市の魅力を広くアピールするため、観光関連事業者等に対する観光宣伝や観光客への情報提供・案内表示など、受入環境を整備することが必要です。

#### 5．地域資源を生かした観光・物産振興

（これまでの取り組み内容）

観光マップの作成や物産展の開催により、豚丼やお菓子など食に関わる情報を広く発信してきました。

・食に関わる観光マップの配布部数（H15～H19：8万5千部）

（今後の課題）

食は帯広・十勝にとって優位性のある重要な地域資源であり、今後も、食をはじめ地域資源を効果的に活用した観光を推進していくことが必要です。

#### 6．広域観光の推進

（これまでの取り組み内容）

旅行代理店が実施するツアーへの支援により、帯広・十勝を周遊するエリアツアーの造成を促進してきたほか、道東地域、大雪地域などとの広域的な連携による観光振興をすすめてきました。

・帯広・十勝エリアツアー参加人数（H15～H19：10,205人）

(今後の課題)

広域交通ネットワークの整備とともに、広域的な観光振興が一層重要になってきており、今後さらに、十勝圏はもとより、東北海道や大雪地域などとの連携を強めていく必要があります。

## 7. 観光産業の振興

(これまでの取り組み内容)

観光に関わる関連業種などが連携し、今後の観光振興の方向性について検討を行いました。

・市内宿泊客延べ数 (H15 : 805,900 名 H19 : 836,800 名)
---

(今後の課題)

様々なサービスを提供する民間事業者は、観光の中心的な担い手であり、今後も、事業者などと連携しながら観光振興に取り組んでいく必要があります。

## 第7節 労働

### 政策の基本方向

- ・ 地域産業に根ざした雇用環境の創造  
技術革新などに対応できる人材を確保・育成するとともに、生き生きと働ける雇用環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 職業能力開発の促進

##### (これまでの取り組み内容)

職業能力開発協会が行う認定職業訓練への支援により、地域産業を支える技能者の養成を促進してきました。

また、近年のニーズに対応した職業訓練を行うため(仮称)職業能力開発センターの整備促進に取り組んできました。

・ 技能検定受験者数 (H15 : 218 人 H19 : 348 人)

##### (今後の課題)

時代の変化とともに、求められる職業能力も変化してきており、技術革新などに対応できる職業能力の開発や人材育成が必要です。

#### 2. 人材の確保

##### (これまでの取り組み内容)

帯広Uターン促進連絡協議会の取り組みや帯広地域雇用創出促進協議会が東京・札幌で開催する合同企業説明会を通じ、U・Iターンを促進してきました。

・ 東京・札幌合同説明会開催数 (6回)

##### (今後の課題)

地域産業の担い手確保が重要な課題となっており、関係機関と連携しながらU・Iターンの促進などをすすめていくことが必要です。

#### 3. 雇用の拡大・確保

##### (これまでの取り組み内容)

若年者のための就職基礎能力向上講習や高校生の職場体験学習支援、中小企業家同友会とハローワークとの連携によるマッチングシステムの構築とともに、季節労働者や高齢者などの雇用対策をすすめてきました。

・各種雇用促進事業による就職者数（H18～H19：650人）

（今後の課題）

関係機関や団体との連携による雇用の拡大、季節労働者の仕事の確保や高齢者などの就業機会の拡大に取り組む必要があります。

#### 4．勤労者福祉の充実

（これまでの取り組み内容）

各種労働相談の実施により、労働者から寄せられる各種労働相談に適切に対応してきました。

また、特殊健康診断の実施、労働災害防止に向けた啓発のほか、勤労者の福利厚生事業を行う団体への支援などをすすめてきました。

・労働災害発生件数（H15：532件/年 H19：498件/年）

（今後の課題）

意欲と能力に応じて働くことができるよう、引き続き良好な労働環境の整備をすすめる必要があります。

### 第1節 環境保全

#### 政策の基本方向

- ・自然と共生する、循環型・環境保全型の地域社会づくり  
市民、事業者、行政が協力して、自然と共生し、環境への負荷の少ない循環型・環境保全型の地域社会づくりをすすめます。

#### 主要な施策の実施状況

##### 1. 環境への負荷の少ない地域社会づくり

###### (これまでの取り組み内容)

ISO14001の認証取得、環境配慮行動指針の策定、河川や大気環境などの調査・測定を行うなど、環境基本計画の推進により、総合的な環境保全をすすめてきました。

環境基本計画における環境指標は、大気や河川水質などは高い水準を維持しており、大気・河川環境はおおむね守られています。

- ・環境基本計画における環境総合指標達成項目数(H16:3項目 H19:6項目)
- ・水質に係る環境基準(BOD)の達成率(H15:100% H19:100%)
- ・大気に係る環境基準(二酸化窒素)の達成率(H15:99.7% H19:100.0%)

###### (今後の課題)

地球温暖化をはじめとする地球環境問題に対応していくため、環境モデル都市の行動計画に基づきながら、市民・事業者・行政が協働で、環境に配慮した地域社会づくりをすすめることが必要です。

##### 2. 自然環境の保全

###### (これまでの取り組み内容)

市内の孤立林の植生について調査し、所有者の協力のもと自然環境保全地区を指定してきました。自然環境保全地区の指定等により、自然環境が保全されています。

- ・自然環境保全地区数(H16:7地区 H19:10地区)

###### (今後の課題)

森林や緑地など自然環境の保全のため、今後も、自然環境の監視を適切に行うことが必要です。

### 3. 環境学習の推進

#### (これまでの取り組み内容)

出前環境教室や環境関連施設における環境学習の実施、学校版ISOの認定などを行ってきたほか、ホームページを活用した環境情報の提供など、市民による環境学習の支援をすすめてきました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 出前環境教室参加者数 (H15 : 260 人/年 H19 : 1,114 人/年)</li><li>・ 学校版ISO認証済校数 (H16 : 6 校 H19 : 10 校)</li><li>・ 環境課のホームページアクセス数 (H16 : 3,058 件 H19 : 30,293 件)</li></ul> |
|--|

#### (今後の課題)

市民一人ひとりの環境問題への意識向上に向け、効果的な環境学習が行われるよう、市民の学習活動への支援や情報提供をすすめることが必要です。

### 4. 市民による行動

#### (これまでの取り組み内容)

一斉清掃活動への支援や環境美化モデル地区の指定など、市民参加による地域の環境維持・保全の促進とともに、ノーカーデーなど環境への負荷を減らす市民活動の促進に取り組んできました。

各種の環境保全活動の参加者は増加傾向にあり、環境保全に向けた市民の活動が活発になってきています。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ ノーカーデー述べ参加者数 (H16 : 2,000 人/年 H19 : 6,113 人/年)</li><li>・ 全市一斉河川清掃参加者数 (H16 : 2,241 人/年 H19 : 2,540 人/年)</li></ul> |
|---|

#### (今後の課題)

環境に配慮したライフスタイルに転換していくため、今後も環境負荷低減に向けた市民活動を促進し、市民、事業者、行政の連携による環境負荷低減の取り組みをすすめることが必要です。

### 5. 環境管理体制の整備

#### (これまでの取り組み内容)

公害を未然に防止するため立入検査や指導などを実施するとともに、大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音などの測定を行い、市内の環境の監視を通じて身近な生活環境の改善をはかってきました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 調査項目の環境基準等達成率 (H16 : 80.6% H19 : 87.4%)</li></ul> |
|---|

#### (今後の課題)

生活環境の監視・測定を行うとともに、公害の未然防止のため、適切な指導・対策を実施することが必要です。

## 6．エネルギーの有効利用

### （これまでの取り組み内容）

住宅用太陽光発電設備や木質ペレットストーブの導入に対する支援など、未利用エネルギーの活用を促進するとともに、出前省エネ講座の開催などにより、省エネルギーの意識啓発をすすめてきました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・木質ペレットストーブの補助件数（19件）</li><li>・太陽光発電設備の補助件数（138件）</li></ul> |
|---|

### （今後の課題）

温室効果ガスの削減に向け、太陽光など環境への負荷が少ないエネルギーの利用や省エネルギーの取り組みを促進していく必要があります。

## 第2節 ごみ減量化・資源化

### 政策の基本方向

#### ・資源循環型の地域社会づくり

市民、事業者、行政の役割分担と連携により、ごみの減量化・資源化をすすめ、資源循環型の地域社会づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. ごみの発生抑制

##### (これまでの取り組み内容)

リターナブル容器の利用促進など容器包装廃棄物の発生抑制について、関係団体を通じて国や事業者に要請してきました。

##### (今後の課題)

詰め替え式製品が徐々に普及してきている一方で、リターナブル容器の利用はすすんでいない状況にあり、今後も、関係団体と連携しながら、ごみの発生抑制に向けた活動をすすめていくことが必要です。

#### 2. ごみの減量運動の推進

##### (これまでの取り組み内容)

過剰包装の抑制などについて、関係団体を通じて国や事業者に要請してきたほか、フリーマーケットの開催を通じて不用品交換運動への支援をすすめてきました。

マイバック運動やフリーマーケットの普及など、徐々にごみの減量化の取り組みが広がっています。

・フリーマーケット開催回数(1回/年)

##### (今後の課題)

市民や事業者の意識向上をはかるため、今後も情報提供や啓発活動などをすすめることが必要です。

#### 3. リサイクル活動の推進

##### (これまでの取り組み内容)

十勝リサイクルプラザを整備したほか、資源集団回収団体への支援、生ごみの資源化促進、リサイクル品目の回収をすすめるなど、リサイクル活動の推進に取り組んできました。

市民・事業者・行政が連携してリサイクル活動を行っており、リサイクル率は徐々に高まっています。



・リサイクル率（H15：25.8% H19：29.5%）

（今後の課題）

今後も、ごみの減量化、資源化に向け、市民や事業者などがリサイクル活動に参加しやすい環境づくりをすすめていくことが必要です。

#### 4．啓発・指導活動の推進

（これまでの取り組み内容）

ごみ懇談会の開催やごみゼロの日キャンペーンなど、ごみの適正排出や発生抑制について、啓発・指導活動をすすめてきており、ごみの混入率が徐々に減少するなど市民の意識向上がすすんでいます。

・混入率（H15：12.6% H19：8.9%）

（今後の課題）

ごみの適正排出や発生抑制、再使用、資源化を促進するため、市民や事業者の意識を一層高めていくため、引き続き、ごみの分別や排出マナーなどの啓発・指導をすすめることが必要です。

#### 5．ごみの適正処理

（これまでの取り組み内容）

5種15分別によるごみ収集を行うとともに、処理費用負担の適正化・公平化をはかるため、家庭ごみの一部を有料化しました。

また、関係自治体と連携し一般廃棄物最終処分場の整備をすすめており、収集運搬、中間処理、最終処分の各過程において適正な処理を行っています。

・市民一人当たりのごみ排出量（H15：1,061g/日 H19：833 g/日）

（今後の課題）

今後も、周辺環境への影響に十分配慮しながら、ごみの適正な処理をすすめることが必要です。

## 第3節 緑の環境

### 政策の基本方向

- ・ ゆとりとうるおいのある緑ゆたかな都市環境の創出  
市民とともに、ゆとりとうるおいのある、緑ゆたかな都市環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 都市公園の整備

##### (これまでの取り組み内容)

緑ヶ丘公園やサケのふる里公園、十勝川水系緑地、中島霊園の整備、各街区公園の整備のほか、老朽化した公園の再整備をすすめ、都市空間における緑やレクリエーション活動・憩いの場などの機能を充実してきました。

・ 一人当たりの公園面積 (H16 : 39.8 m<sup>2</sup>/人 H19 : 43.7 m<sup>2</sup>/人)

##### (今後の課題)

緑豊かな生活環境づくりのため、市民と協働で公園・緑地の整備・管理をすすめることが必要です。

#### 2. 帯広の森の整備

##### (これまでの取り組み内容)

帯広の森は、用地取得や市民との協働による植樹・育樹などをすすめ、大部分が整備を終了しています。

また、自然観察会の開催など、市民利用の促進に取り組んできたほか、(仮称)帯広の森市民活動センターの整備に向けた取り組みをすすめてきました。

・ 帯広の森用地取得率 (H16 : 96.1% H19 : 97.4%)

##### (今後の課題)

帯広の森の利活用や森の環境整備をすすめ、森が持つ機能を環境学習などに広く利活用していくことが必要です。

#### 3. 美しい花と緑の環境づくり

##### (これまでの取り組み内容)

公共施設の緑化をすすめてきたほか、フラワー通りの整備、花壇コンクールなど市民と協働で美しい花と緑の環境づくりをすすめてきました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・フラワー通り参加団体数（H16：53 団体/年 H19：60 団体/年）</li><li>・花壇コンクール参加団体数（H16：79 団体/年 H19：84 団体/年）</li></ul> |
|--|

（今後の課題）

今後も、市民や企業の緑化活動の促進や行政、市民、企業の連携により、市街地の緑化や樹林地の保全などすすめていくことが必要です。

#### 4．緑のネットワークづくり

（これまでの取り組み内容）

緑の基本計画の策定・推進、帯広の森や公園・緑地の整備などをすすめ、都市部から農村部、山麓部まで連続する緑や公園緑地、街路樹、水辺などの機能を活かした緑のネットワークの形成をすすめてきました。

（今後の課題）

今後も、緑の保全・育成をすすめながら緑のネットワークを形成していくことが必要です。

## 第4節 住宅・住宅地

### 政策の基本方向

- ・人と環境にやさしい住環境づくり  
人と環境にやさしく、快適で、すみよい住環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 住宅の整備

##### (これまでの取り組み内容)

高齢者向け優良賃貸住宅の整備、ユニバーサルデザイン住宅の融資・助成や相談機能の整備、公営住宅の建替・改修等により、良好な住環境の整備をすすめてきました。

- ・公営住宅建替・改善戸数(470戸)
- ・都心部借り上げ公営住宅(177戸)
- ・農村部借上公営住宅の整備(24戸)
- ・ユニバーサルデザイン住宅貸付戸数(168戸)

##### (今後の課題)

高齢化などに対応した住環境づくりのため、ユニバーサルデザイン住宅の普及促進や民間活力の活用による公的賃貸住宅の整備をすすめるとともに、老朽化した公営住宅の建替え・改修をすすめることが必要です。

#### 2. 住宅地の整備

##### (これまでの取り組み内容)

稲田・川西地区新市街地開発事業や緑商第三土地区画整理事業の推進など住宅地の整備により、住宅建設の促進や住環境の改善をすすめてきました。

- ・稲田・川西地区新市街地開発事業土地利用(率)(H16:4.6% H19:29.1%)
- ・緑商第三土地区画整理事業整備面積(H18:2.1ha H19:3.4ha)

##### (今後の課題)

今後は、整備された社会基盤の有効活用や良好な宅地の供給、さらには市街地の未利用地の利用促進や既存住宅の流動化をすすめることが必要です。

#### 3. 住居表示などの整備

##### (これまでの取り組み内容)

住所の表示を分かりやすくすることにより、市民生活の円滑化をはかるため、地域の協力を得ながら、住居表示や字名改正を実施してきました。

・住居表示の整備率（H18：60.6% H19：62.3%）

（今後の課題）

今後も、住所の表示を分かりやすくするため、字名改正や住居表示板の整備をすすめます。

## 第5節 上・下水道

### 政策の基本方向

- ・安全で安定した水の供給  
安定給水の実現や、効率的な水運用をすすめるとともに、市民サービスの向上をはかり、安全で良質な水道水の供給をすすめます。
- ・快適な生活環境を創出する下水道の整備  
安定的な下水道の維持・整備により、快適な生活環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 上水道の整備

##### (これまでの取り組み内容)

上水道第4次拡張事業の推進による配水管の整備や老朽化した配水管の更新、緊急貯水槽の設置などをすすめてきました。

上水道普及率が極めて高い水準となっているとともに、災害に強い施設整備がすすんでいます。

- ・上水道普及率(人口)(H15: 99.8% H19: 99.9%)
- ・緊急貯水槽設置数(4基)
- ・上水道有収率(H15: 87.6% H19: 90.6%)

##### (今後の課題)

上水道は広く普及しており、安全でおいしい水を今後も安定的に供給するため、老朽化した上水道施設の更新や施設の耐震化などをすすめることが必要です。

#### 2. 下水道の整備

##### (これまでの取り組み内容)

公共下水道の整備、終末処理場の施設改修、合流式下水道の改善、雨水処理施設の整備などにより、下水道の普及や放流水の水質の改善、また浸水対策が必要な地域の整備がすすんでいます。

- ・下水道整備率(汚水)(H15: 95.5% H19: 97.9%)
- ・下水道整備率(雨水)(H15: 38.6% H19: 41.5%)

##### (今後の課題)

公共下水道の整備率は高い水準となっており、今後は、下水道施設の更新や施設の耐震化など災害に強い施設づくりをすすめることが必要です。

## 第6節 道路

### 政策の基本方向

- ・誰もが安心して快適な道路環境づくり  
高齢者や子どもなど誰もが安心・安全で快適な道路環境を整備するとともに、冬季間の快適な道路環境づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 道路の整備

##### (これまでの取り組み内容)

弥生新道など都市計画道路の整備をすすめるとともに、一般市道、臨時地方道、特殊舗装、道路側溝の整備など生活道路の整備をすすめてきました。

また、北栄グリーンロードなどの歩行者・自転車道の整備をすすめてきました。

- ・渋滞緩和・円滑化が必要な箇所数（H16：19箇所 H19：11箇所）
- ・都市計画道路の整備延長（7,498m）
- ・生活道路の整備延長（22,642m）
- ・歩行者・自転車道路整備延長（1,638m）

##### (今後の課題)

今後も、幹線道路や生活道路の整備をすすめるとともに、自転車や歩行者のための道路整備をすすめることが必要です。

#### 2. 道路環境の整備

##### (これまでの取り組み内容)

歩道整備、スクールゾーン表示整備、道路照明灯設置、区画線設置、道路標識設置、反射鏡設置、視線誘導標設置、交差点改良などの交通安全施設の整備をすすめるとともに、地点名標示板・道路案内標識などの整備をすすめ、安全で利用しやすい道路環境の整備に取り組んできました。

- ・歩道整備延長（57,056m）
- ・スクールゾーン表示整備（56箇所）
- ・道路照明灯（77基）

##### (今後の課題)

今後とも、歩行者をはじめ、道路を利用する人たちに配慮した、安全で快適な交通環境の確保が必要です。

### 3. 道路の維持・管理

#### (これまでの取り組み内容)

除雪車両の整備、ブロック制やパートナーシップ除排雪の実施により冬期間の除排雪体制を充実してきたほか、オーバーレイや特殊舗装の打替などをすすめ、快適な道路環境の維持に取り組んできました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・市道特殊舗装及び補修延長(67,676m)</li><li>・パートナーシップ除排雪参加町内会数(H17:13町内会 H19:14町内会)</li></ul> |
|--|

#### (今後の課題)

今後も、市民と連携・協力しながら、冬期間の除排雪に取り組むなど、安全で快適な道路環境を維持していく必要があります。



## 第7節 河川

### 政策の基本方向

- ・安全で安心できる河川環境の整備  
治水の取り組みをすすめるとともに、自然環境を生かした水辺空間の整備をすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 治水対策の推進

##### (これまでの取り組み内容)

国や道に対する治水対策の要請や大成川の護岸整備などに取り組み、十勝川や札内川など河川の防災機能の向上に努めてきました。

- ・大成川の整備延長(795m)

##### (今後の課題)

洪水などの災害に備えるため、今後も、治水対策を促進していくことが必要です。

#### 2. 河川環境の整備

##### (これまでの取り組み内容)

十勝川水系緑地や機関庫の川における水辺環境などの整備をすすめ、河川や森林、緑地などが連なった水と緑のネットワークの形成をすすめてきました。

- ・河川緑地の整備面積(9.97ha)

##### (今後の課題)

今後も、市民が水と緑に親しむことができる河川緑地の整備や水辺の環境づくりが必要です。

#### 3. 水源の保全

##### (これまでの取り組み内容)

水道水源となる河川表流水の水質調査・監視を行ってきました。

##### (今後の課題)

今後も、安全で良質な水を安定的に供給するため、水道水源を保全していくことが必要です。

## 第8節 都市景観・農村景観

### 政策の基本方向

・美しく快適な景観づくりの推進  
自然と調和した美しい景観形成をすすめ、十勝らしい個性ある景観づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 都市景観づくり

(これまでの取り組み内容)

公共サインの統一化、都市景観賞表彰制度の実施、ワークショップの活用などにより、市民との協働による都市景観づくりをすすめてきました。

・景観形成のワークショップ参加者数 (H16~H18 : 300人)  
・都市景観賞・まちづくりデザイン賞応募者数 (H16 : 53件 H19 : 158件)

(今後の課題)

今後も、景観に対する市民意識の啓発をすすめるとともに、市民と事業者との連携による都市景観づくりが必要です。

#### 2. 農村景観づくり

(これまでの取り組み内容)

耕地防風林の整備を促進し、本市の特色ある農村地域の景観保全をはかってきました。

・耕地防風林の植栽本数 (69,394本)

(今後の課題)

今後も、地域の自然や歴史を活かした、帯広・十勝らしい景観づくりをすすめるため、耕地防風林の整備促進などに取り組むことが必要です。

### 第1節 幼児教育

#### 政策の基本方向

- ・ 地域に開かれた幼稚園教育の推進  
幼児の心身の健全な発達をめざし、地域と連携した幼稚園教育をすすめます。

#### 主要な施策の実施状況

##### 1. 幼稚園教育の充実

###### (これまでの取り組み内容)

協議会を設置し、幼稚園と保育所の連携をすすめ、幼稚園教員と保育所職員の交流をはかってきました。

また、奨励金の支給による幼稚園の就園奨励、幼稚園教員研修支援などにより、幼稚園教育の充実に取り組んできました。

・ 保育所・幼稚園の就園率（H16：87.4% H19：88.8%）

###### (今後の課題)

今後も、幼稚園への就園を促進するとともに、幼稚園と保育所との連携を強め、幼稚園教育を促進することが必要です。

##### 2. 障害児教育の充実

###### (これまでの取り組み内容)

各幼稚園において障害児の受け入れが行われています。

###### (今後の課題)

今後は、障害児教育など幼稚園が独自に取り組む教育への支援をすすめることが必要です。

##### 3. 地域の子育て支援

###### (これまでの取り組み内容)

子育てガイドブックの作成による情報提供や街区公園の整備などにより、地域の子育て支援をすすめてきました。

###### (今後の課題)

世帯構成の変化や女性の社会進出などにより子育て環境は変化しており、子育てを地域社会で支援していくための取り組みが必要となっています。

## 第2節 小・中学校教育

### 政策の基本方向

- ・生きる力の育成とゆとりある教育の確保  
学校、家庭、地域社会が連携して、心豊かでたくましい子どもの育成をはかります。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 教育内容の充実

##### (これまでの取り組み内容)

総合的な学習の推進や基礎学力定着のためのデータベースの作成などにより、子どもたちが自ら学び自ら考える力の育成や基礎学力定着のための効果的な指導をすすめてきました。

また、心の問題に対応する生徒指導アドバイザーの配置、いじめ・不登校などに対応する指導員・相談員の配置などにより、いじめ・不登校に対する一人一人の実態に応じた相談指導をすすめてきました。

- ・学習用データベースの活用回数（H19：26回）

##### (今後の課題)

今後も、地域の特性や人材を活かしながら、子どもたち一人ひとりの個性を活かし能力を伸ばす教育をすすめるとともに、体験活動や図書に親しむ機会を通じた心の教育、運動に親しむ機会の充実など健康な体を育む教育をすすめることが必要です。

#### 2. 教育環境の整備

##### (これまでの取り組み内容)

各学校における特色ある教育活動に対する支援により、創意工夫による特色ある学校づくりをすすめてきました。

また、障害者用トイレや病弱学級の設置をすすめてきたほか、学校図書館の蔵書の充実や教育用コンピュータの整備、教師の研修や教育研究機能の充実、地域の食材を活かしたふるさと給食の提供、小中学校規模の適正化への対応など、教育環境の整備をすすめてきました。

- ・夢のある学校づくりに取り組む学校数（H18：14校 H19：17校）
- ・障害者トイレの設置数（74箇所）
- ・児童一人当たりの貸し出し冊数（小学校）（H16：8.0冊 H19：9.1冊）
- ・生徒一人当たりの貸し出し冊数（中学校）（H16：1.3冊 H19：1.6冊）
- ・教育用コンピュータ整備率（H16：2.37人/台 H19：1.57人/台）
- ・パソコン研修講座等述べ参加者数（H15：359人 H19：517人）

(今後の課題)

今後も、小・中学校の小規模化に対応するため、小中学校の適正配置をすすめるとともに、特別支援教育の充実により障害のある子どもの教育ニーズへの対応をすすめる必要があります。

また、教師の指導力や総合的な人間力の充実、学校・家庭・地域の連携の促進などに取り組んでいく必要があります。

### 3. 社会変化に対応する教育の推進

(これまでの取り組み内容)

中学校・小学校へ外国人講師・指導助手を派遣し、効果的な英語教育・国際理解教育をすすめてきました。

また、校内LAN整備や教育用コンピュータ整備をすすめてきたほか、児童生徒の関心に応じた自然体験学習をすすめ、帯広の自然や産業に触れる機会を提供してきました。

- ・英語科外国人講師(中学校)の配置(2名)
- ・国際理解教育指導助手(小学校)の配置(2名)
- ・教育用コンピュータ整備率(H16:2.37人/台 H19:1.57人/台)
- ・自然体験学習コース数(H16:8コース H19:8コース)

(今後の課題)

情報化や国際化の一層の進展など、社会の変化を踏まえ、今後の社会の中で求められる力を育む教育を、推進していく必要があります。

### 4. 教育施設の整備

(これまでの取り組み内容)

老朽化した校舎や屋内体育館の増改築や屋内体育館の耐震補強をすすめるとともに、学校施設を地域に開放し、スポーツ活動や児童保育センターに有効に活用してきました。

- ・校舎増改築数(3校)
- ・屋内体育館増改築数(5校)
- ・屋内体育館耐震化率(H16:44.8% H19:71.9%)
- ・地域開放した学校施設の利用者数  
(H15:213,880人/年 H19:209,373人/年)

(今後の課題)

義務教育施設の改修・改築、耐震化など、子どもたちが安心して快適に教育を受けられることができる施設整備とともに、余裕教室など学校施設の有効活用が必要です。

## 第3節 高等学校教育

### 政策の基本方向

- ・豊かな人間性を育む高等学校教育の推進  
教育機会の充実をはかるとともに、地域社会との関わりを強め、個性ある人材の育成をすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 進学機会の確保・充実

##### (これまでの取り組み内容)

帯広市高等学校間口対策協議会と連携しながら、関係機関に対して受け入れ間口の改善要請を行うとともに、私立高等学校への助成、私立高校生授業料補助を行うなど、私立高等学校や保護者に対する支援をすすめ、進学機会の確保・充実に取り組んできました。

- ・私立高等学校授業料補助人数（H16：284人/年 H19：310人/年）
- ・私立高等学校への助成校数（2校/年）

##### (今後の課題)

生徒が地元の高等学校で学ぶことができるよう、今後も、高等学校の受け入れ間口の確保に向けた取り組みとともに、私立高等学校への支援などにより、進学機会の確保をはかる必要があります。

#### 2. 市立帯広南商業高等学校の充実

##### (これまでの取り組み内容)

情報処理教育施設の整備をすすめるとともに、英語教育など国際理解教育を推進してきました。また、インターンシップの実施など地域社会と連携した教育の推進などにより、地域で必要とされる人材の育成をすすめてきました。

- ・就職決定率（H16：100% H19：100%）
- ・ボランティア活動クラブの活動日数（H16：32日/年 H19：35日/年）

##### (今後の課題)

社会の変化とともに、生徒の意識・進路も多様化してきており、社会に貢献できる人材を育てるため、地域の協力を得ながら、特色ある高等学校教育をすすめることが必要です。

## 第4節 高等教育・試験研究機関

### 政策の基本方向

#### ・新しい時代を拓く人づくり

新しい時代を拓く、人間性豊かでたくましい人材を育てるため、高等教育機関の整備をすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 新しい大学の整備

##### (これまでの取り組み内容)

情報収集を行うとともに、学校法人を訪問し、協議・意見交換など、新しい大学の整備に向けた誘致活動をすすめています。

##### (今後の課題)

大学には人材育成や若者の定着とともに地域の知の拠点として役割が期待されており、今後も、引き続き、新しい大学の実現に向け、取り組んでいくことが必要です。

#### 2. 帯広畜産大学などの整備

##### (これまでの取り組み内容)

帯広畜産大学に大学院博士課程が設置されたほか、帯広畜産大学と本市との包括連携協定の締結により、大学機能の活用などに取り組んできました。

・帯広畜産大学の地域貢献事業数（H15：55 事業/年 H19：116 事業/年）

##### (今後の課題)

帯広畜産大学は、高度な研究活動や人材育成をはじめ、積極的な地域貢献、地域連携に取り組むなど、地域における重要な役割を担っており、今後も、地域の振興をはかるため、整備・拡充をすすめることが必要です。

#### 3. 短期大学、専修学校の整備促進

##### (これまでの取り組み内容)

帯広コア専門学校の観光ホスピタリティ科設置への支援を通じて、地域の産業を支える人間性豊かな人材の育成を促進してきました。

・帯広コア専門学校卒業生数（418人）

(今後の課題)

短期大学や専修学校は、時代の要請に合った整備や機能充実が求められており、今後も地域ニーズを踏まえながら、短期大学・専修学校の整備促進をはかることが必要です。

4．高等教育機関の活用

(これまでの取り組み内容)

帯広畜産大学による生涯学習事業の実施や帯広リサーチ&ビジネスパーク構想の策定により、大学や試験研究機関などの研究成果を地域産業の振興に結びつけるなど、高等教育機関や試験研究機関と連携した取り組みをすすめてきました。

・高等教育機関による生涯学習事業等の参加者数 (H15：2,168人/年 H19：6,720人/年)
---

(今後の課題)

今後においても、高等教育機関が持つ知的資源を有効に活用し、生涯学習や産業振興をはかることが必要です。

5．試験研究機関の整備

(これまでの取り組み内容)

道立試験研究機関の整備に向けた要請を行うとともに、帯広リサーチ&ビジネスパーク構想の策定をすすめました。

・食品加工技術センターの試験研究成果 (H15～H19：18件)
----------------------------------

(今後の課題)

地域の資源を地域産業に結び付けていくため、今後も、公的試験研究機関の整備・拡充の促進が必要です。



## 第5節 生涯学習

### 政策の基本方向

- ・生涯をとおして学びあえる環境づくり  
市民一人ひとりの生涯学習活動を奨励、支援するため、総合的な環境づくりをすすめます。
- ・青少年を健全に育む環境づくり  
次代を担う青少年を健全に育成する地域環境づくりをすすめます。
- ・男女共同参画社会づくり  
社会の中で男女が対等な立場で活動する、男女共同参画社会づくりをめざします。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 生涯学習推進体制の整備

##### (これまでの取り組み内容)

生涯学習フェスティバルの開催により、市民の学習活動に対する意識啓発をすすめてきたほか、地区生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座の企画・実施を通じて、各地区における生涯学習社会構築に向けた基礎づくりをすすめてきました。

・地区生涯学習推進委員数（H16：365人/年 H19：372人/年）

##### (今後の課題)

今後は、関係機関、学習団体などの交流・連携の場づくりをすすめるなど、多様な主体の連携を促進する仕組みづくりをすすめることが必要です。

#### 2. 生涯学習活動への支援

##### (これまでの取り組み内容)

とかちプラザ、動物園、図書館、百年記念館、児童会館における各種講座の実施により、市民の学習活動を支援してきたほか、生涯学習コーディネーターの養成など担い手や団体の育成、ガイドブック、ホームページなどによる情報提供をすすめてきました。

・市民大学講座の受講者数（H15：103人/年 H19：2,273人/年）  
・動物園での各種講座受講者数（H15：12,808人/年 H19：7,743人/年）  
・図書館での各種講座受講者数（H15：1,435人/年 H19：4,992人/年）  
・児童会館での各種講座受講者数（H15：5,921人/年 H19：6,619人/年）  
・百年記念館での各種講座受講者数（H16：996人/年 H19：1,358人/年）

##### (今後の課題)

社会の変化とともに人々の学習動機は多様化しており、市民の多様なニーズに応

じた学習機会の提供や学習成果を活用するための環境づくりをすすめることが必要です。

### 3．青少年の健全育成

(これまでの取り組み内容)

家庭教育学級の開設や子ども会などの指導者の養成をすすめるとともに、子どもの居場所づくりなど、子どもたちが地域で様々な体験を行うことができる場づくりをすすめてきました。

また、青少年の問題行動の未然防止など青少年の健全育成に向けた取り組みをすすめてきました。

・子どもの居場所づくり事業参加者数 (H17：2,165人/年 H19：8,491人/年)
--

(今後の課題)

青少年を心身ともに健全に育む環境づくりのため、家庭・地域・学校・関係機関などが連携し、世代間交流や体験活動を促進するとともに、非行の未然防止などに取り組むことが必要です。

### 4．男女共同参画社会づくり

(これまでの取り組み内容)

男女共同参画セミナーの開催など学習機会の充実により、男女共同参画の意識啓発をはかってきました。なお、各種審議会などへの女性の登用をはじめ女性の参画機会の拡大などに努めてきましたが、女性の参画機会は十分に広がっていない状況にあります。

・男女共同参画セミナー参加者数 (H15：210人/年 H19：260人/年) ・各種審議会の女性登用数 (H15：33.1% H19：31.5%)
---

(今後の課題)

男女が個性と能力を發揮できる社会づくりをすすめるため、男女平等の意識啓発をすすめるとともに、男女がともに仕事と家庭・地域生活を両立できる環境づくりに向け、事業所などへの啓発などをすすめることが必要です。

### 5．生涯学習施設の整備

(これまでの取り組み内容)

新しい図書館を整備するとともに、蔵書の充実、図書館ボランティア活動の促進などに取り組んできており、図書館は多くの市民により利用されています。

また、動物園やアイヌ民族文化情報センターなどの整備、児童保育センターと連携した放課後子ども広場の開設をすすめてきました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館利用登録者数〔H16開始の広域利用者数を含む〕<br/>（H15：13,017人 H19：47,468人）</li><li>・動物園入園者数〔冬季開園を除く〕<br/>（H16：118,700人/年 H19：137,415人/年）</li></ul> |
|---|

（今後の課題）

社会教育施設は市民の学習活動の拠点としての役割を担っており、今後も適切な管理運営や計画的な改修などをすすめることが必要です。

## 第6節 芸術・文化

### 政策の基本方向

- ・自主的な文化活動による地域文化の創造  
芸術・文化が市民生活に溶け込み、市民自らの創造活動により開花する地域性豊かな文化を創造します。
- ・歴史的文化遺産の保存・活用  
地域にある貴重な歴史的文化遺産を保存し、郷土の歴史や文化を正しく理解する学習活動を促進します。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 自主的文化活動の促進

##### (これまでの取り組み内容)

市民芸術祭などによる発表・活動機会の提供や、文化団体・人材の育成、ホームページによる文化情報の充実など、市民の自主的な文化活動の促進に取り組んできました。

- ・文化団体会員数（H15：22,703人 H19：22,142人）
- ・市民芸術祭参加団体数（H15：47団体/年 H19：51団体/年）

##### (今後の課題)

今後も、人材・団体の育成や情報提供などを通じて市民の主体的な芸術・文化活動を促進していくことが必要です。

#### 2. 鑑賞機会の拡充

##### (これまでの取り組み内容)

関係団体などとの連携により、舞台芸術、美術、音楽など、良質な芸術・文化を鑑賞する機会を充実し、市民の芸術・文化への理解促進をはかってきました。

- ・芸術文化鑑賞機会の提供数（H16～19：39件）

##### (今後の課題)

市民ニーズの多様化に対応した、芸術・文化の鑑賞機会の提供をすすめることが必要です。

#### 3. 文化環境の充実

##### (これまでの取り組み内容)

市民の自主的な文化活動を促進するため、絵画・彫塑・書・工芸その他の美術作品の展覧会、展示会等の場として市民ギャラリーを整備しました。

(今後の課題)

文化施設は市民の自主的な文化活動の場、市民が芸術・文化に触れる場となっており、今後も適切な管理運営や計画的な改修などをすすめる必要があります。

#### 4. 歴史的遺産の保存・活用

(これまでの取り組み内容)

歴史的建築物、史跡、アイヌ古式舞踊の調査・保存や埋蔵文化財の発掘調査、埋蔵文化財センターの整備など歴史的文化遺産の保存活用により、郷土の歴史や文化の理解促進に取り組んできました。

・埋蔵文化財収蔵点数 (H16 : 50 万点 H19 : 86 万点)
--------------------------------------

(今後の課題)

地域に対する市民の理解を促進するため、郷土資料の収集・活用や歴史的遺産の保存・活用をすすめる必要があります。

## 第7節 スポーツ

### 政策の基本方向

- ・健康で活力に満ちた生涯スポーツの振興  
スポーツをとおして、市民の心と体の調和のとれた健康づくりをめざし、誰もが参加できる生涯スポーツの振興をはかります。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 生涯スポーツ活動の推進

##### (これまでの取り組み内容)

スポーツ教室・講習会などの開催や総合型地域スポーツクラブの育成・支援、スポーツ団体・人材の育成、ホームページによる情報提供の充実など、生涯スポーツ活動の推進に取り組んできました。

- ・スポーツ教室・講習会の参加者数  
(H15 : 32,084 人/年 H19 : 35,677 人/年)
- ・総合型地域スポーツクラブ加入登録人数 (H18 : 40 人 H19 : 215 人)

##### (今後の課題)

健康の維持・増進や体力づくり、青少年の心身の健全な育成のため、子どもから大人まで誰もがスポーツに親しむことができる機会の充実が必要です。

#### 2. 競技スポーツの振興

##### (これまでの取り組み内容)

スポーツ大会の誘致をすすめ、全国・全道規模の様々な大会が開催されたほか、様々なスポーツ合宿の誘致をすすめてきました。

また、スポーツ交流大会の開催などスポーツ交流をすすめるとともに、スケート競技の振興などに取り組んできました。

- ・韓国との交流大会の参加者数 (H15 : 120 人/年 H19 : 152 人/年)
- ・スポーツ大会参加人数 (H15 : 14,370 人 H19 : 10,102 人)

##### (今後の課題)

今後さらに、市民のスポーツへの関心を高めていくため、競技者や団体の育成をすすめるとともに、スポーツを通じたにぎわいづくりや交流促進に向け、スピードスケートをはじめとするスポーツ大会や合宿の誘致などをすすめていくことが必要です。

### 3. スポーツ施設の充実

#### (これまでの取り組み内容)

スポーツセンターや球技場などのスポーツ施設の整備をすすめてきたほか、新帯広の森スピードスケート場の整備をすすめ、スポーツ施設の充実に取り組んできました。

- ・帯広の森スピードスケート場利用者数〔新施設建設のため H18 実績を掲載〕  
( H15 : 55,851 人 H18 : 60,024 人 )
- ・学校開放利用者数 ( H15 : 183,145 人 H19 : 167,359 人 )

#### (今後の課題)

スポーツ施設は市民のスポーツ活動の拠点としての役割を担っており、今後も適切な管理運営や計画的な改修などをすすめる必要があります。

### 第1節 総合交通体系

#### 政策の基本方向

- ・地域間交流と連携を育む道路交通ネットワークづくり  
産業経済活動や地域間連携の基盤となる、道路交通網の体系的な整備をすすめます。
- ・国内外との連携と交流を促進する空港・港湾ネットワークづくり  
さまざまな地域との活発な交流を可能とする、空港・港湾などの広域交通ネットワークの形成をすすめます。
- ・地域間や日常生活の利便性を高める公共交通機関の充実  
鉄道やバスなどの充実により、公共交通機関の利便性向上を促進します。

#### 主要な施策の実施状況

##### 1. 広域道路交通網の整備

###### (これまでの取り組み内容)

高規格幹線道路や地域高規格幹線道路、広域幹線道路の整備促進に取り組んできました。

北海道横断自動車道の池田 - 本別・足寄間、トマム - 十勝清水間、帯広・広尾自動車道の帯広 JCT - 幸福間が開通したほか、帯広空港道路、国道 236 号・弥生新道の整備がすすみました。

###### (今後の課題)

今後も、道央圏や東北道の各都市とのアクセス向上や十勝圏の広域交通機能の向上に向け、北海道横断自動車道など広域交通ネットワークの整備促進に取り組むことが必要です。

##### 2. 圏域内道路交通網の整備

###### (これまでの取り組み内容)

弥生通・弥生新道・中島通・北4線・札内新道、すずらん大橋・白樺通・帯広の森通・共栄通など圏域内道路交通網の整備を促進してきました。

また、幹線道路の道道への昇格要望を行い、弥生新道（白樺通 - 中島通間）は道道に昇格しました。

###### (今後の課題)

今後も、圏域内の交通の円滑化に向けて、圏域内道路の整備促進に取り組むことが必要です。



### 3. 都市内道路交通網の整備

#### (これまでの取り組み内容)

弥生新道や栄通など都市計画道路の整備をすすめてきたほか、十勝・帯広のバス交通の拠点として帯広駅バスターミナルを整備してきました。

・渋滞緩和・円滑化が必要な箇所数（H16：19箇所 H19：11箇所）

#### (今後の課題)

今後も、産業活動や市民生活を支える基盤として、都市内道路交通網の整備をすすめることが必要です。

### 4. 空港の整備

#### (これまでの取り組み内容)

滑走路や誘導路の嵩上げにより大型機への対応強化をすすめてきたほか、航空灯火の改良、化学消防車の更新・整備、除雪車両の更新などにより安全性の確保・向上に取り組んできました。

また、駐車場を拡張し利便性の向上に取り組むとともに、航空路線網の充実や出入国管理・検疫施設の誘致活動など空港の国際化に向け取り組んできました。

・駐車場収容台数（H16：656台 H19：810台）

#### (今後の課題)

今後も、十勝・帯広と国内外を結ぶ広域的な交通の拠点として、安定的な運航を確保するため、空港機能の整備が必要です。

### 5. 航空路線網の充実

#### (これまでの取り組み内容)

航空会社などに対し、東京線のダブルトラッキング化をはじめとする国内航空路線の就航・拡充の要請を行ってきており、一時、函館線、千歳線が開設されました。

#### (今後の課題)

今後も、航空路線の利便性向上をはかるため、引き続き、航空路線網の充実に取り組むことが必要です。

### 6. 帯広空港の国際化の環境整備

#### (これまでの取り組み内容)

C I Q体制の整備について関係機関への要望活動をすすめてきたほか、観光プロモーション活動と合わせて、国際チャーター便の就航要請などをすすめてきました。とかち帯広空港が動植物検疫の携帯品輸入指定飛行場に指定されるとともに、国

際チャーター便は台湾・韓国・中国便が就航し、運航便数も大きく増加しました。

・国際チャーター便運航便数（H12～H15 平均：98 便 H19：281 便）

（今後の課題）

今後も、国際便の就航や出入国管理体制の整備促進をはかり、空港の国際化に向け環境整備をすすめることが必要です。

## 7．十勝港の利活用促進

（これまでの取り組み内容）

国内外を結ぶ十勝の物流拠点として、十勝港の整備や利活用、C I Q体制の整備について国などへの要望活動をすすめてきており、平成12年に検疫法に基づく無線検疫港の指定を受け、平成16年に第4ふ頭第3岸壁が供用開始となりました。

また、民間企業による飼料コンビナート整備が予定されています。

（今後の課題）

今後も、十勝の物流拠点としての機能を発揮し利用促進をはかるため、出入国管理体制や検疫体制の整備促進などに取り組むことが必要です。

## 8．鉄道の充実

（これまでの取り組み内容）

石勝線・根室線高速化や北海道新幹線の早期建設について関係機関への要請を行いました。

また、石勝線・根室線では、振り子気動車の導入がすすめられており、高速化がすすんでいます。

・スーパーとかち・スーパーおおぞらの運行本数（H19：20本）

（今後の課題）

鉄道は道央圏や道東を高速で結ぶ重要な陸上交通であり、引き続き、石勝線・根室線の高速化に向けた取り組みをすすめることが必要です。

## 9．バス交通網の充実

（これまでの取り組み内容）

大正地区、川西地区において乗合タクシーや乗合バスを導入するとともに、市内バス路線の再編検討をすすめるなど、バス交通網の充実に取り組んできました。

また、十勝・帯広のバス交通の拠点として帯広駅バスターミナルを整備し、乗換えなどのバス交通の利便性の向上をはかってきました。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・大正地区乗合タクシー利用者数（H15～H19：16,142人）</li><li>・川西地区乗合バス利用者数（H17～H19：11,202人）</li></ul> |
|---|

（今後の課題）

バス交通は交通弱者の生活を支える足として重要であり、今後も、バス交通の利便性向上や活性化をはかる必要があります。

## 第2節 広域連携

### 政策の基本方向

- ・十勝圏が連携した広域的な地域づくりの推進  
十勝20市町村が連携を深め、十勝が一体となった地域づくりをすすめます。
- ・東北北海道、北海道における連携した地域づくりの推進  
北海道の均衡ある発展のため、東北北海道などの広域的な視点で地域づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 中核都市圏の振興

##### (これまでの取り組み内容)

一市三町による帯広圏の都市計画をすすめるとともに、帯広圏地方拠点都市地域基本計画に基づき、周辺自治体と連携しながら、交通ネットワークや文化・スポーツ機能などの都市機能の整備をすすめ、中核都市圏としての機能向上をはかってきました。

##### (今後の課題)

今後も、関係自治体と連携しながら都市機能の充実に取り組み、中核都市圏の振興をはかっていくことが必要です。

#### 2. 十勝圏の振興

##### (これまでの取り組み内容)

十勝ふるさと市町村圏計画を着実に推進するとともに、航空宇宙関連施設の誘致活動、滞在型観光ルートづくり、北海道横断自動車道をはじめとする広域交通体系の整備など、十勝圏の広域的課題への対応をすすめてきました。

また、十勝滞納整理機構など事務の共同処理をすすめました。

・十勝圏複合事務組合等による広域事業項目数(H16:8項目 H19:10項目)

##### (今後の課題)

近年、広域的な対応が必要な課題が増えており、今後も管内町村との事務の共同処理など、連携した取り組みをすすめることが必要です。

#### 3. 東北北海道、北海道の振興

##### (これまでの取り組み内容)

ひがし北海道国際観光ルート整備協議会に参加し、外国人観光客の誘客など広域的な連携による観光振興の取り組みを推進するなど、道内各都市と連携した取り組みをすすめてきました。

・国際チャーター便外国人利用者数（H15：22,761人 H19：37,263人）

（今後の課題）

今後も、各都市が共通の課題に連携して対応していくため、東北道をはじめ、道内各都市との連携や交流をすすめることが必要です。

## 第3節 国内交流

### 政策の基本方向

- ・ 地域間の多様で幅広い連携・交流の展開  
さまざまな地域との積極的な交流ネットワークづくりをすすめ、連携と交流による地域づくりをめざします。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 姉妹都市交流の推進

##### (これまでの取り組み内容)

松崎町・大分市・徳島市の子供親善訪問団の派遣・受け入れや、大分・徳島市の物産展への参加など姉妹都市交流をすすめてきました。

・ 松崎町・大分市・徳島市交流回数 (H17 : 9回/年 H19 : 11回/年)

##### (今後の課題)

他都市との交流を通じて、異なる文化や価値観に触れ、地域づくりに活かしていくため、引き続き国内姉妹都市との市民主体の交流を促進することが必要です。

#### 2. 地域間交流の促進

##### (これまでの取り組み内容)

東京・関西帯広会や関西経済連合会との交流など、地域間交流の促進に取り組んできました。

・ 東京・関西帯広会郷土訪問ツアー受け入れ人数 (H16 : 33人/年 66人/年)

##### (今後の課題)

今後も、道内外との多様な交流を促進し、活力ある地域づくりにつなげていくことが必要です。

## 第4節 国際交流・国際協力

### 政策の基本方向

- ・世界に開かれた地域づくりの推進  
国際交流、国際協力を推進するとともに、地域でのネットワークづくりをすすめ、世界に開かれた地域づくりをすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1．国際交流の推進

##### （これまでの取り組み内容）

地域への外国人講師派遣や紹介、高校生海外留学助成などの国際理解教育をすすめ、地域、学校など様々な場において、国際交流の推進に取り組んできました。

また、中国・朝陽市との友好都市の締結や米国・マディソン市との姉妹都市の締結、国際姉妹都市との高校生相互派遣などをすすめてきました。

- ・外国人講師派遣・紹介した事業の参加者数  
(H15：1,160人/年 H19：1,394人/年)

##### （今後の課題）

今後とも、外国の文化や習慣に接する機会を有効に活用した地域づくりをすすめるため、国際姉妹都市・友好都市との市民主体の相互交流を促進していくことが必要です。

#### 2．国際協力の推進

##### （これまでの取り組み内容）

農業を中心に、JICA帯広国際センターの研修コースづくりへの支援を行うなど、国際協力をすすめてきました。

- ・JICA帯広国際センター研修コース参加人数  
(H15：148人/年 H19：143人/年)

##### （今後の課題）

今後とも、JICA帯広国際センターの取り組みを通じて、地域の特性を活かした国際協力をすすめていくことが必要です。

#### 3．国際化の環境づくり

##### （これまでの取り組み内容）

外国語ホームページにより、外国人への生活情報を提供するとともに、留学生と市民との交流機会の拡充、十勝インターナショナル協会を核としたネットワークづ

くりを推進してきました。

また、空港・港湾の国際化など、国際化の環境づくりをすすめ、国際チャーター便の就航などにつなげてきました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 外国語ホームページへのアクセス件数<br/>( H15 : 27,063 件/年 H19:72,658 件/年 )</li><li>・ 留学生と市民の交流事業の参加者数<br/>( H15 : 2,600 人/年 H19 : 6,100 人/年 )</li><li>・ 国際チャーター便運便数 ( H12 ~ H15 平均 : 98 便/年 H19 : 281 便/年 )</li></ul> |
|--|

( 今後の課題 )

国際化の進展に対応し、外国の文化に対する理解を深めるとともに、暮らしの情報提供など、外国人が住みやすい環境づくりをすすめることが必要です。



## 第5節 情報化

### 政策の基本方向

- ・ 高度情報通信時代に対応した地域情報化の推進  
高度情報通信基盤を活用した市民生活の向上や、地域産業の活性化をはかるため、総合的に地域の情報化をすすめます。

### 主要な施策の実施状況

#### 1. 産業の情報化

##### (これまでの取り組み内容)

農業経営管理支援システムの普及や農業気象情報提供システムの運用による気象情報の提供など、情報通信基盤を活用し、産業の情報化をすすめてきました。

##### (今後の課題)

情報通信技術は一層発展していくことが予想されており、企業活動など様々な分野において地域の情報化をすすめることが必要です。

#### 2. 行政の情報化

##### (これまでの取り組み内容)

公共施設予約システム、総合相談窓口情報システム、戸籍システムなどの整備により事務の効率化や市民サービスの向上をはかるとともに、ホームページを充実するなど、行政の情報化をすすめてきました。

- ・ 情報化業務数 (H16 : 43 業務 H19 : 45 業務)

##### (今後の課題)

事務の効率性を高め、質の高い行政サービスを提供するため、行政の情報化をすすめていくことが必要です。

#### 3. 地域の情報化の推進

##### (これまでの取り組み内容)

情報通信基盤を活用し、市民生活の向上をはかるため、帯広市地域情報化推進プランを策定するとともに、高速・超高速回線による地域公共ネットワークや防災無線の整備をすすめてきました。

- ・ 地域公共ネットワークの接続施設数 (12 箇所)

(今後の課題)

発達する情報通信技術を活用しながら、市民生活など様々な分野において地域の情報化をすすめる必要があります。

#### 4. 情報通信基盤の整備促進

(これまでの取り組み内容)

民間事業者が行う情報基盤整備に対する支援により、市街地や一部農村地域において、光ファイバー網の整備がすすみ、市民が高速な情報通信基盤を利用できるようになりました。

(今後の課題)

地域の情報化に対応するため、民間事業者などとの連携により、高度情報通信基盤の整備を促進していく必要があります。